

準学士課程

一般科目 第3～5学年

科 目 名	国語		
科 目 名 (英 名)	Japanese		
学 年 ・ 学 科	3年・全学科		
授 業 形 態	講義・履修2単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	千葉正昭		
授業の概要と注意	社会生活を送る上で必須である理解能力・文章表現能力を身につけ、様々な文章を読解する中で、文学・思想・歴史などにかかわる一般教養を身につける。 不明なことは調べられるような準備をして授業に臨むこと。(辞典・便覧の用意は不可欠である。)		
到達目標	文章理解・表現の能力を確実にし、文学・思想・歴史についての基本的な知識を身につけることを目標とする。		
仙台高専学習・教育目標			
評価方法と基準	評価方法：定期試験を80%および授業態度20%から総合して評価する。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とする。		
教 科 書 参 考 書	書名：精選現代文 発行所：教育出版		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	前期導入	授業の進め方・方針について概説
	第 2 週	現代文読解と応用：随筆	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 3 週	現代文読解と応用：随筆	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 4 週	現代文読解と応用：小説	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 5 週	現代文読解と応用：小説	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 6 週	現代文読解と応用：小説	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 7 週	現代文読解と応用：評論	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 8 週	現代文読解と応用：評論	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 9 週	現代文読解と応用：小説	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 10 週	現代文読解と応用：小説	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 11 週	現代文読解と応用：小説	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 12 週	現代文読解と応用：評論	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 13 週	現代文読解と応用：評論	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 14 週	現代文読解と応用：評論	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 15 週	現代文読解と応用：詩	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 16 週	まとめ	前期授業総括
			期末試験
後 期	第 1 週	後期導入	前期期末試験の解説と後期授業について
	第 2 週	現代文読解と応用：随筆	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 3 週	現代文読解と応用：随筆	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 4 週	現代文読解と応用：小説	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 5 週	現代文読解と応用：小説	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 6 週	現代文読解と応用：小説	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 7 週	現代文読解と応用：評論	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 8 週	現代文読解と応用：評論	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 9 週	現代文読解と応用：小説	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 10 週	現代文読解と応用：小説	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 11 週	現代文読解と応用：小説	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 12 週	現代文読解と応用：評論	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 13 週	現代文読解と応用：評論	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 14 週	現代文読解と応用：評論	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 15 週	現代文読解と応用：詩	文章内容の把握と国語の常識的知識獲得
	第 16 週	まとめ	授業通年の総括
			期末試験

科 目 名	国語表現		
科目名(英名)	Japanese Expression		
学 年 ・ 学 科	3年・全学科		
授 業 形 態	講義・履修1単位・必修・週1時間		
担 当 教 員	千葉正昭、千葉幸一郎、空井伸一、黒澤佑司		
授業の概要と注意	考える力を伸ばし、言葉による感覚を磨き、言語を取り巻く文化に対する関心を深める。既に学んできた文章表現力の他に、社会的視野から世の中のさまざまな事象を考えていくことを前提とする。		
到達目標	作文による国語表現力を高めることを目標とする。		
仙台高専学習・教育目標			
評価方法と基準	評価方法：定期試験50%、授業態度・提出物50%で評価。60点以上を合格とする。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とします。		
教 科 書 参 考 書	書名：日本語表現演習と発展 著者：大本泉その他 発行所：明治書院 用意したプリント適宜使用する。		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	前期導入	前期授業の概要について
	第 2 週	文章作成トレーニングその1	文章作成の基本を習得
	第 3 週	文章作成トレーニングその2	文章作成の基本を習得
	第 4 週	文章作成トレーニングその3	文章作成の基本を習得
	第 5 週	文章作成トレーニングその4	文章作成の基本を習得
	第 6 週	文章作成トレーニングその5	文章作成の基本を習得
	第 7 週	文章作成トレーニングその6	文章作成の基本を習得
	第 8 週	文章作成トレーニングその7	文章作成の基本を習得
	第 9 週	文章作成トレーニングその8	文章作成の基本を習得
	第 10 週	文章作成トレーニングその9	文章作成の基本を習得
	第 11 週	文章作成トレーニングその10	文章作成の基本を習得
	第 12 週	文章作成トレーニングその11	文章作成の基本を習得
	第 13 週	文章作成トレーニングその12	文章作成の基本を習得
	第 14 週	文章作成トレーニングその13	文章作成の基本を習得
	第 15 週	文章作成トレーニングその14	文章作成の基本を習得
	第 16 週	前期まとめ	
	後 期		期末試験
第 1 週		後期導入	後期授業の概要について
第 2 週		文章作成トレーニングその15	文章作成の基本を習得
第 3 週		文章作成トレーニングその16	文章作成の基本を習得
第 4 週		文章作成トレーニングその17	文章作成の基本を習得
第 5 週		文章作成トレーニングその18	文章作成の基本を習得
第 6 週		文章作成トレーニングその19	文章作成の基本を習得
第 7 週		文章作成トレーニングその20	文章作成の基本を習得
第 8 週		文章作成トレーニングその21	文章作成の基本を習得
第 9 週		文章作成トレーニングその22	文章作成の基本を習得
第 10 週		文章作成トレーニングその23	文章作成の基本を習得
第 11 週		文章作成トレーニングその24	文章作成の基本を習得
第 12 週		文章作成トレーニングその25	文章作成の基本を習得
第 13 週		文章作成トレーニングその26	文章作成の基本を習得
第 14 週		文章作成トレーニングその27	文章作成の基本を習得
第 15 週		文章作成トレーニングその28	文章作成の基本を習得
第 16 週		後期まとめ	
	期末試験		

科 目 名	政治経済		
科 目 名 (英 名)	Politics and Economics		
学 年 ・ 学 科	3年・全学科		
授 業 形 態	講義・履修2単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	秋山和男		
授 業 の 概 要 と 注 意	教科書に基づく展開 政治・経済に関する読み物や、新聞の政治・経済の欄に注目し、テレビ・ラジオのニュースに関心を持つこと。		
到 達 目 標	広い視野に立って民主主義の本質に関する理解を深め、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。		
仙台高専学習・教育目標			
評 価 方 法 と 基 準	定期試験によって評価し、60点以上を合格とする。		
教 科 書 参 考 書	著書：『政治・経済』 著者：佐々木毅他 発行所：東京書籍（株） 参考書：関連する事象の資料をプリントとして使用		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	民主政治の基本原則 民主政治の特質	理解と考察
	第 2 週	〃 〃	〃
	第 3 週	〃 法の支配と人権	〃
	第 4 週	〃 〃	〃
	第 5 週	〃 民主政治のしくみ	〃
	第 6 週	〃 主要国の政治体制	〃
	第 7 週	日本国憲法の基本原則 明治憲法制定	〃
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	日本国憲法の基本原則 日本国憲法制定	理解と考察
	第 10 週	〃 〃	〃
	第 11 週	〃 基本的人権の保障	〃
	第 12 週	〃 〃	〃
	第 13 週	〃 〃	〃
	第 14 週	〃 〃	〃
	第 15 週	〃 平和主義	〃
	第 16 週	〃 〃	〃
	期末試験		
後 期	第 1 週	日本の政治機構 立法	理解と考察
	第 2 週	〃 内閣	〃
	第 3 週	〃 裁判所	〃
	第 4 週	〃 地方自治	〃
	第 5 週	現代政治の特質 選挙と政治意識	〃
	第 6 週	〃 政党政治と政治参加	〃
	第 7 週	経済社会の変容 資本主義体制成立	〃
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	経済社会の変容 資本主義体制成立	理解と考察
	第 10 週	〃 社会主義経済登場	〃
	第 11 週	現代経済のしくみ 経済主体と経済循環	〃
	第 12 週	〃 国民所得と経済成長	〃
	第 13 週	〃 金融	〃
	第 14 週	〃 租税と財政	〃
	第 15 週	日本経済の発展 経済復興と民主化	〃
	第 16 週	〃 高度成長から安定成長	〃
	期末試験		

科 目 名	総合英語		
科 目 名 (英 名)	Comprehensive English		
学 年 ・ 学 科	3年・全学科		
授 業 形 態	講義・履修4(2/4)単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	菅野洋行		
授業の概要と注意	2年までの既習事項を総合的に確認し、TOEIC形式の学習を通して英語の運用力を高める。		
到達目標	TOEICの初級・中級レベルの実力を身につけること。		
仙台高専学習・教育目標			
評価方法と基準	定期試験の合計点を100点満点をもって評価し、60点以上を合格とする。		
教 科 書 参 考 書	書名：My First TOEIC Test [New Version] 編著者：光富省吾 他 発行所：朝日出版社		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	TOEIC入門	TOEICの出題パターンを学ぶ。
	第 2 週	〃	〃
	第 3 週	〃	〃
	第 4 週	Unit1	各Unitとも7パートで構成されている。
	第 5 週	〃	Part1 Photographs
	第 6 週	Unit2	Part2 Question-Response
	第 7 週	〃	Part3 Short Conversations
	第 8 週	中間試験	Part4 Short Talks
	第 9 週	Unit3	Part5 Incomplete Sentences
	第 10 週	〃	Part6 Text Completion
	第 11 週	Unit4	Part7 Reading Comprehension
	第 12 週	〃	これらの問題に取り組んで繰り返し学び実力をつける。
	第 13 週	Unit5	
	第 14 週	〃	
	第 15 週	Unit6	
	第 16 週	〃	
		期末試験	
後 期	第 1 週	Unit7	各Unitとも7パートで構成されている。
	第 2 週	〃	Part1 Photographs
	第 3 週	Unit8	Part2 Question-Response
	第 4 週	〃	Part3 Short Conversations
	第 5 週	Unit9	Part4 Short Talks
	第 6 週	〃	Part5 Incomplete Sentences
	第 7 週	Unit10	Part6 Text Completion
	第 8 週	中間試験	Part7 Reading Comprehension
	第 9 週	Unit11	これらの問題に取り組んで繰り返し学び実力をつける。
	第 10 週	〃	
	第 11 週	Unit12	
	第 12 週	〃	
	第 13 週	Unit13	
	第 14 週	〃	
	第 15 週	Unit14	
	第 16 週	〃	
		期末試験	

科 目 名	総合英語		
科 目 名 (英 名)	Comprehensive English		
学 年 ・ 学 科	3年・全学科		
授 業 形 態	講義・履修4(2/4)単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	佐々木誠逸		
授業の概要と注意	さまざまな分野の英文を読んで正確に理解するトレーニングを行う。読解のプロセスを通してリーディングスキルを修得する。		
到達目標	辞書を活用しながら基本的な英文を読み、英文の構造を理解したうえで、内容を正確に把握できるようになること。		
仙台高専学習・教育目標			
評価方法と基準	評価方法：定期試験をもとに評価し60点以上を合格とする。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とする。		
教 科 書 参 考 書	書名：NEW LEGEND ENGLISH READING 著者：鈴木英一 他 発行所：開拓社 書名：Reading Gym 発展 著者：英語問題研究会 発行所：数研出版		
授 業 計 画	授業項目		授業項目に対する達成目標
前 期	第 1 週	2課 The Fun They Had./Reading Gym 1	[小説]物の見方・科学
	第 2 週	"/ "	日本語の「どうも」の用法を誤解
	第 3 週	"/ "	して覚えた米国人の体験談
	第 4 週	"/ "	<言語材料> 関係副詞
	第 5 週	"/ "	現在完了進行形等
	第 6 週	4課 Animal Rights / "	[対話文]社会・文化
	第 7 週	"/ "	食物等としての動物捕獲と矛盾
	第 8 週	中間試験	する自然保護・動物保護の問題
	第 9 週	4課 Animal Rights / "	<言語材料> 非制限的用法の関係代名詞
	第 10 週	"/ "	倒置等
	第 11 週	"/ "	
	第 12 週	6課 Brave Kate Shelley / "	[物語]ものの考え方・社会
	第 13 週	"/ "	洪水で流された鉄橋を危険を冒し
	第 14 週	"/ "	て知らせる15歳の少女
	第 15 週	"/ "	<言語材料> 過去分詞の分詞構文
	第 16 週	"/ "	否定の倒置等
	期末試験		
後 期	第 1 週	7課 Where Do Dreams come from?/" 13	[説明文]物の見方・伝記
	第 2 週	"/ "	フロイトの心の病を治す研究と
	第 3 週	"/ "	その生涯
	第 4 週	"/ "	<言語材料> 仮定法
	第 5 週	"/ "	不定詞等
	第 6 週	9課 Basic American Values /" 18	[説明文]社会・歴史
	第 7 週	and Beliefs	米国社会の基本的な価値観や信
	第 8 週	中間試験	念について
	第 9 週	9課 Basic American Values /" 19	<言語材料> 関係副詞
	第 10 週	and Beliefs /" 20	譲歩を表す節等
	第 11 週	"/ "	
	第 12 週	11課 How Europe Got Its Shape/" 22	[説明文]地理・歴史
	第 13 週	"/ "	ヨーロッパ大陸が形成された一
	第 14 週	"/ "	連の過程
	第 15 週	"/ "	<言語材料> 付帯状況を表す表現等
	第 16 週	"/ "	
	期末試験		

科 目 名	保健体育		
科 目 名 (英 名)	Health and Physical education		
学 年 ・ 学 科	3年・全学科		
授 業 形 態	実習・履修2単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	平間哲雄、柴田尚都、櫻井みさと		
授 業 の 概 要 と 注 意	運動における競争や協同の経験を通して公正な態度を養い、自己の最善をつくり、相互に協力して、個人や集団の目標実現に向かって努力する能力や態度を養い、社会生活における望ましい行動のしかたを身につける。 学校指定の運動着（Tシャツ）及び体育館シューズを着用する。外用シューズ・柔道着・水着は各自適したものを用意すること。身体的事情で長期見学する場合は医師の診断書を提出すること。		
到 達 目 標	授業で扱われる柔道、球技、水泳の各運動種目の基本技術を習得し、それらの運動を実践できる。		
仙台高専学習・教育目標			
評 価 方 法 と 基 準	評価方法：各種目の運動技能テストから評価する。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とする。		
教 参 考 書	書名：ニューカラスポーツ 著者：池田満治ほか 発行所：一橋出版		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	柔道	屋内種目を実施
	第 2 週	柔道	屋外種目を実施
	第 3 週	柔道	投げ技・固め技
	第 4 週	柔道	乱取り稽古
	第 5 週	柔道	乱取り稽古
	第 6 週	柔道	紅白試合
	第 7 週	柔道	紅白試合
	第 8 週	柔道	護身術・徒手
	第 9 週	柔道	護身術・武器
	第 10 週	バレー／バスケットボール	基本スキルの練習
	第 11 週	バレー／バスケットボール	ゲーム
	第 12 週	バレー／バスケットボール	ゲーム
	第 13 週	水泳	タイム測定
	第 14 週	水泳	タイム測定
	第 15 週	水泳	タイム測定
	第 16 週	水泳	メドレー100mタイム4分以内の泳力
後 期	第 1 週	サッカー／ソフトテニス	オリエンテーション
	第 2 週	サッカー／ソフトテニス	ボールに慣れる／ラケットの持ち方
	第 3 週	サッカー／ソフトテニス	リフティング／ラリーの練習
	第 4 週	サッカー／ソフトテニス	リフティング／ラリーの練習
	第 5 週	サッカー／ソフトテニス	ゲーム
	第 6 週	サッカー／ソフトテニス	ゲーム
	第 7 週	サッカー／ソフトテニス	スキルテスト
	第 8 週	サッカー／ソフトテニス	スキルテスト
	第 9 週	バレーボール	基本パス
	第 10 週	バレーボール	基本パス
	第 11 週	バレーボール	サーブ／トス
	第 12 週	バレーボール	サーブ／トス
	第 13 週	バレーボール	アタック
	第 14 週	バレーボール	アタック
	第 15 週	バレーボール	ゲーム
	第 16 週	バレーボール	ゲーム

科 目 名	微積分		
科 目 名 (英 名)	Differential and Integral Calculus		
学 年 ・ 学 科	3年・全学科		
授 業 形 態	講義・履修4単位・必修・週4時間		
担 当 教 員	小野慎司、高村 潔、徳能 康、生田信之、下田泰史		
授 業 の 概 要 と 注 意	理工学の基礎としての線形代数の重要な部分である行列の固有値と固有ベクトルおよび微分積分の理論のうち2変数関数の偏微分、2重積分を理解し計算および応用できるようになることを目標とする。また、級数や2階までの常微分方程式を理解し、計算および応用できるようになることを目標とする。基礎数学・微分積分I・代数幾何の内容を復習しておくことが必要である。予習・復習を必ず行い、課題は提出すること。厚めのノートを用意して、教科書の問題を自分で解くこと。		
到 達 目 標	2変数関数の偏微分・重積分および微分方程式の講義と演習を通して、2年次の微積分の基礎と応用および、多変数関数の重要性を理解する。教科書の問と練習問題の70%は自力で解けるようにする。また、問題集の60%は自力で解けるようにする。		
仙台高専学習・教育目標	A-1		
評 価 方 法 と 基 準	定期試験80%、小テスト・課題を20%で評価し、60点以上を合格とする		
教 科 書 参 考 書	書名:新訂 線形代数、新訂 微分積分Ⅱ 著者:新井一道 他 発行所:大日本図書		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	固有値とその応用	固有値、固有ベクトル、行列の対角化 対称行列の対角化、2次形式 行列のべき乗、練習問題 1・2次近似、n次近似 数列の極限、べき級数 マクローリン展開、テイラー展開 オイラーの公式、練習問題 2変数関数、グラフ、極限值 連続、偏導関数 接平面、合成関数の微分 合成関数の微分、練習問題 高次偏導関数、多項式近似 極大・極小 陰関数の微分、条件付き極値 包絡線、練習問題
	第 2 週	固有値とその応用	
	第 3 週	固有値とその応用	
	第 4 週	関数の展開	
	第 5 週	関数の展開	
	第 6 週	関数の展開	
	第 7 週	関数の展開	
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	偏微分法	
	第 10 週	偏微分法	
	第 11 週	偏微分法	
	第 12 週	偏微分法	
	第 13 週	偏微分法の応用	
	第 14 週	偏微分法の応用	
	第 15 週	偏微分法の応用	
	第 16 週	偏微分法の応用	
		期末試験	
後 期	第 1 週	重積分	重積分の定義・計算 重積分の計算、積分順序の変更 立体の体積、練習問題 座標軸の回転、極座標による計算 極座標による計算, 変数変換 広義積分、曲面積 重心、練習問題 微分方程式の解 変数分離形 同次形、1階線形微分方程式 1階線形微分方程式、練習問題 2階線形微分方程式 定数係数2階線形微分方程式 連立微分方程式、べき級数による解法 2階非線形微分方程式、練習問題
	第 2 週	重積分	
	第 3 週	重積分	
	第 4 週	重積分	
	第 5 週	重積分	
	第 6 週	重積分	
	第 7 週	重積分	
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	微分方程式	
	第 10 週	微分方程式	
	第 11 週	微分方程式	
	第 12 週	微分方程式	
	第 13 週	微分方程式	
	第 14 週	微分方程式	
	第 15 週	微分方程式	
	第 16 週	微分方程式	
		期末試験	

科 目 名	日本語		
科 目 名 (英 名)	Japanese		
学 年 ・ 学 科	3年・留学生		
授 業 形 態	講義・履修6(2/6)単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	島田幸子		
授業の概要と注意	編入初年度の高専生活に適応していくために必要な日本語を身につける。 予備教育で学んだ日本語を基礎に語彙/漢字/表現などの力を伸ばしながら、4技能(読/聞/書/話)を関連づけた活動/課題を通し情報受信力(聞/読)と発信力(話/書)を高めていくので、積極的に取り組むこと。授業課題を通し日本の社会/習慣/文化への理解も深める。受講学生の日本語力により授業項目を変更することがある。		
到達目標	日本語情報の受信力(聞/読)と発信力(話/書)を向上させ、留学生活においてその力を十分に発揮できること。 漢字の特性を知り漢字語彙への理解力と運用力を身につけること。 基礎的な専門用語(含カタカナ語)や表現文型の聴解力と読解力を身につけること。 学年終了時に日本語能力試験2級合格レベルの力を身につけていること。		
仙台高専学習・教育目標			
評価方法と基準	評価方法：課題、演習、小テスト、復習試験を総合して評価する。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とする。		
教科書	学生の日本語力や必要性により選択して使用する。 日本語能力試験対策問題集各種		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	自己紹介(聴/読/話/書) ・ 漢字クイズ	4技能レベルと学習段階を確認する
	第 2 週	高専生活の漢字/語彙/表現 ・ 実践活動	学内窓口/掲示/図書館等で情報受信実践
	第 3 週	体調を伝える表現/語彙 ・ 板書の文字	体調を伝えられる・崩し字/略字を知る
	第 4 週	社会生活漢字/語彙/表現・住んでいる街	銀行等に対応できる・名取/仙台を知る
	第 5 週	依頼/報告/お礼/携帯メールの表現	日常生活の待遇表現・メール連絡できる
	第 6 週	どんな勉強方法? ・ 漢字	関連語彙/表現を知る/使う
	第 7 週	母国紹介(話/書/発表) ・ 漢字	母国について発信できる
	第 8 週	前半の学習をふり返る	前半学習内容の復習と補講
	第 9 週	短い読物(聴/読/話/書) ・ 漢字	内容をつかむ・語句/表現/語彙を増やす
	第 10 週	短い読物(聴/読/話/書) ・ 漢字	内容をつかむ・語句/表現/語彙を増やす
	第 11 週	短い読物(聴/読/話/書) ・ 漢字	内容をつかむ・語句/表現/語彙を増やす
	第 12 週	短い読物(聴/読/話/書) ・ 漢字	内容をつかむ・語句/表現/語彙を増やす
	第 13 週	作文の基本(1) ・ 漢字	文の呼応・句読点の意味/役割・文体等
	第 14 週	作文の基本(2) ・ 漢字	文章構成と段落・分かりやすく伝える
	第 15 週	読み物(北海道での夏休み)	東北・北海道情報や旅行に関する表現
	第 16 週	復習試験および返却/解説	到達度を確認する
後 期	第 1 週	夏休みの経験について話す/書く	スピーチや作文で伝える
	第 2 週	日本はどんな国(歴史の流れ概観)	日本の歴史の流れを大まかに理解する
	第 3 週	現在の日本(グラフ情報/対談/投書)	グラフ情報の表現・意見を述べられる
	第 4 週	いろいろな話(聴/読/話/書)	話題/文型/語句/表現/語彙などを増やす
	第 5 週	いろいろな話(聴/読/話/書)	話題/文型/語句/表現/語彙などを増やす
	第 6 週	いろいろな話(聴/読/話/書)	話題/文型/語句/表現/語彙などを増やす
	第 7 週	いろいろな話(聴/読/話/書)	話題/文型/語句/表現/語彙などを増やす
	第 8 週	前半の学習をふり返る	前半学習内容の復習と補講
	第 9 週	日本のことわざ(聴く/読む/話し合う)	ことわざの意味を理解できる/使える
	第 10 週	テーマにそって発表する(書く/発表)	テーマにそって分かりやすく伝える
	第 11 週	年末年始/十二支/年賀状/今年の漢字	日本の習慣を知る・感想を述べる
	第 12 週	新年の抱負(話す/作文)	関連語彙/表現/漢字を増やし使う
	第 13 週	研修旅行の経験を伝える(話す/作文)	公的な場所で発表できる
	第 14 週	テーマにそって発表する	ハンドアウト等を作成する・発表する
	第 15 週	復習試験および返却/解説	到達度を確認する
	第 16 週	編入後の1年をふり返る(話す/作文)	テーマにそって作文にまとめ発表する

科 目 名	日本語		
科 目 名 (英 名)	Japanese		
学 年 ・ 学 科	3年・留学生		
授 業 形 態	講義・履修6(4/6)単位・必修・週4時間		
担 当 教 員	小島判子		
授業の概要と注意	新入生として仙台高専に編入した留学生が一日も早く学校に馴染むように、明るく楽しく日本語を勉強したいと思います。最初は既習の学力をチェックしながら日本語の復習をし、次第に日本社会や学校内の人々とのコミュニケーションが自然にできるよう、短文の暗記授業から始めます。		
到達目標	学生達の会話から4技能のレベルをチェックし、さらに、そのやりとりを聞きながら発音を矯正します。この授業の目標は、仙台高専で出会ったお互いの絆が卒業まで、さらにその後も、大切な友人として育っていくように、そのための楽しく心の通う日本語教育を目標とします。		
仙台高専学習・教育目標			
評価方法と基準	評価方法：課題、小テスト、復習試験を総合して評価する。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とする。		
教科書	書名：中級へ行こう 発行所：スリーエーネットワーク 必要に応じて適宜選択して使用する		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	自己紹介・確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> 既習知識の確認 発音／発声／文字表記／漢字／語彙／文法／聴解などの復習と矯正練習を行い、初中級へ進む基礎を身につける 日常生活に必要な会話力（敬語／電話／質問の仕方など）を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 学習の確認 復習試験の解説
	第 2 週	初級日本語の復習と確認	
	第 3 週	初級日本語の復習と確認	
	第 4 週	初級日本語の復習と確認	
	第 5 週	初級日本語の復習と確認	
	第 6 週	初級日本語の復習と確認	
	第 7 週	中級へ行こう1課 ファーストフード	
	第 8 週	中級へ行こう1課 ファーストフード	
	第 9 週	中級へ行こう2課 地震	
	第 10 週	中級へ行こう2課 地震	
	第 11 週	中級へ行こう3課 最近の子ども	
	第 12 週	中級へ行こう3課 最近の子ども	
	第 13 週	中級へ行こう4課 インターネットの利用	
	第 14 週	中級へ行こう4課 インターネットの利用	
	第 15 週	復習試験	
	第 16 週	試験返却と解説	
後 期	第 1 週	夏休みについて話す	休み中の会話力の低下を取り戻す 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 初中級の日本語力を身につける 学習の確認 復習試験の解説 初中級の日本語力を発揮して表現する
	第 2 週	中級へ行こう5課 睡眠	
	第 3 週	中級へ行こう5課 睡眠	
	第 4 週	中級へ行こう6課 日本人の発明	
	第 5 週	中級へ行こう6課 日本人の発明	
	第 6 週	中級へ行こう7課 リサイクルとフリマ	
	第 7 週	中級へ行こう7課 リサイクルとフリマ	
	第 8 週	中級へ行こう8課 あいづち	
	第 9 週	中級へ行こう8課 あいづち	
	第 10 週	中級へ行こう9課 男の仕事・女の仕事	
	第 11 週	中級へ行こう9課 男の仕事・女の仕事	
	第 12 週	中級へ行こう10課 ことばの使い方	
	第 13 週	中級へ行こう10課 ことばの使い方	
	第 14 週	初中級復習試験	
	第 15 週	復習試験の返却と解説	
	第 16 週	この一年を振り返って	

科 目 名	保健体育		
科 目 名 (英 名)	Health and Physical education		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	実習・履修2単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	平間哲雄、柴田尚都、庄司雅夫		
授業の概要と注意	科学的知識に基づいた合理的な運動学習を通して、学生間のコミュニケーションを活性化し、心身の健康の保持・増進を図る。また、さまざまなスポーツ種目の学習を通して社会生活に必要なマナーを身につける。運動着 (Tシャツ) ・体育館シューズ・外用シューズ・水着は、各自適したものを用意すること。身体的事情で長期見学する場合は医師の診断書を提出すること。		
到達目標	(1) 種目別、教材別、習熟度別に目標を設定し、各自にあった練習方法を身につけ、スポーツの楽しさを味わい、実践できる力を身につける。 (2) 各種目、基本的技術を身につけ、正式なルールでゲーム遂行できる。		
仙台高専学習・教育目標			
評価方法と基準	評価方法：各種目の運動技能テストから評価し、60点以上を合格とする。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とする。		
教科書	書名：最新保健体育 著者：高石昌弘他 発行所：大修館書店 書名：ニューカラスポーツ 著者：池田満治他 発行所：一橋出版		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	新体力テスト	屋内種目を実施
	第 2 週	新体力テスト	屋外種目を実施
	第 3 週	球技選択 (木球、ソフトボール、テニス、サッカー)	各種目の基本技術とルール
	第 4 週	球技選択 (木球、ソフトボール、テニス、サッカー)	各種目の基本技術とルール
	第 5 週	球技選択 (木球、ソフトボール、テニス、サッカー)	各種目の基本技術とルール
	第 6 週	球技選択 (木球、ソフトボール、テニス、サッカー)	練習方法、簡易ゲーム
	第 7 週	球技選択 (木球、ソフトボール、テニス、サッカー)	練習方法、簡易ゲーム
	第 8 週	球技選択 (木球、ソフトボール、テニス、サッカー)	練習方法、簡易ゲーム
	第 9 週	球技選択 (木球、ソフトボール、テニス、サッカー)	ゲーム
	第 10 週	球技選択 (木球、ソフトボール、テニス、サッカー)	ゲーム
	第 11 週	水泳	救助泳法とは
	第 12 週	水泳	横泳ぎ
	第 13 週	水泳	横泳ぎ25m以上の泳力
	第 14 週	水泳	あおむけ泳ぎ
	第 15 週	水泳	あおむけ泳ぎ25m以上の泳力
	第 16 週	水泳	スキルテスト
後 期	第 1 週	球技選択 (木球、ソフトボール、テニス、サッカー)	ゲーム
	第 2 週	球技選択 (木球、ソフトボール、テニス、サッカー)	ゲーム
	第 3 週	球技選択 (木球、ソフトボール、テニス、サッカー)	ゲーム
	第 4 週	球技選択 (木球、ソフトボール、テニス、サッカー)	ゲーム
	第 5 週	球技選択 (木球、ソフトボール、テニス、サッカー)	ゲーム
	第 6 週	球技選択 (木球、ソフトボール、テニス、サッカー)	各種目のスキルテスト
	第 7 週	球技選択 (バレー、バスケット、バドミントン、卓球)	各種目の基本技術とルール
	第 8 週	球技選択 (バレー、バスケット、バドミントン、卓球)	各種目の基本技術とルール
	第 9 週	球技選択 (バレー、バスケット、バドミントン、卓球)	各種目の基本技術とルール
	第 10 週	球技選択 (バレー、バスケット、バドミントン、卓球)	練習方法、簡易ゲーム
	第 11 週	球技選択 (バレー、バスケット、バドミントン、卓球)	練習方法、簡易ゲーム
	第 12 週	球技選択 (バレー、バスケット、バドミントン、卓球)	ゲーム
	第 13 週	球技選択 (バレー、バスケット、バドミントン、卓球)	ゲーム
	第 14 週	球技選択 (バレー、バスケット、バドミントン、卓球)	ゲーム
	第 15 週	球技選択 (バレー、バスケット、バドミントン、卓球)	ゲーム
	第 16 週	球技選択 (バレー、バスケット、バドミントン、卓球)	各種目のスキルテスト

科 目 名	応用数学		
科 目 名 (英 名)	Applied Mathematics		
学 年 ・ 学 科	4年・機械工学科		
授 業 形 態	講義・学修2単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	山田哲義		
授業の概要と注意	微積分で学んだ内容をふまえて、自然現象の解明に必要とされる微分方程式の解法およびその物理的な意味を理解するために、Laplace変換、Fourier級数を学び演習を交えてその意味、計算法を習得する。構造設計に関する様々な知識の習得を目的とする。確率統計の分野のうち推定、検定を学ぶ。物理学および工学の理論的組み立てを解析するために、3年生までに学んだ数学のすべての分野を利用する方法を学ぶ。そのため、これまでに学んだ数学のすべての知識が必要となる。		
到達目標	Laplace変換の使用法、Fourier級数の物理的な意味、数学的な意味を理解し、当該学科の関連科目の基礎を理解できること。教科書の練習問題、問題集の60%を自力で解けるようになる。		
仙台高専学習・教育目標	A-1		
評価方法と基準	定期試験80%と課題20%とで評価し、60点以上を合格とする。		
教科書参考書	書名：新訂 応用数学 プリント 著者：碓氷 久 他 発行所：大日本図書		
授業計画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	確率統計	二項分布、ポアソン分布、正規分布 相関、回帰直線 母平均の区間推定 母平均の仮説検定 定義、線形性、相似性 移動法則、微分法則 高次微分法則、積分法則、Laplace変換表 逆Laplace変換 逆Laplace変換 微分方程式への応用（たたみこみ） 微分方程式への応用（電気回路の問題） 梁のたわみの問題 梁のたわみの問題 伝達関数 伝達関数、ブロック線図の等価変換
	第 2 週	確率統計	
	第 3 週	確率統計	
	第 4 週	確率統計	
	第 5 週	Laplace変換	
	第 6 週	Laplace変換	
	第 7 週	Laplace変換	
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	Laplace変換	
	第 10 週	Laplace変換	
	第 11 週	Laplace変換の応用	
	第 12 週	Laplace変換の応用	
	第 13 週	Laplace変換の応用	
	第 14 週	Laplace変換の応用	
	第 15 週	Laplace変換の応用	
	第 16 週	Laplace変換の応用	
		期末試験	
後 期	第 1 週	Fourier級数	周期2πの関数のFourier級数 周期2πの関数のFourier級数 周期2πの関数のFourier級数 一般周期の関数のFourier級数 一般周期の関数のFourier級数 一般周期の関数のFourier級数 複素Fourier級数 偏微分方程式への応用 偏微分方程式への応用 偏微分方程式への応用 Fourier変換、逆Fourier変換 Fourier変換の性質と公式 偏微分方程式への応用 偏微分方程式への応用 偏微分方程式への応用
	第 2 週	Fourier級数	
	第 3 週	Fourier級数	
	第 4 週	Fourier級数	
	第 5 週	Fourier級数	
	第 6 週	Fourier級数	
	第 7 週	Fourier級数	
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	Fourier級数	
	第 10 週	Fourier級数	
	第 11 週	Fourier級数	
	第 12 週	Fourier変換	
	第 13 週	Fourier変換	
	第 14 週	Fourier変換	
	第 15 週	Fourier変換	
	第 16 週	Fourier変換	
		期末試験	

科 目 名	応用数学		
科 目 名 (英 名)	Applied Mathematics		
学 年 ・ 学 科	4年・電気工学科		
授 業 形 態	講義・学修2単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	中村富雄		
授業の概要と注意	工学や自然科学の分野における現象の記述には、微分方程式が用いられることが多い。この授業では微積分で学んだの内容をふまえて、自然現象の解明に必要とされる微分方程式の解法およびその物理的な意味を理解するために、Laplace変換、Fourier級数を学び演習を交えてその意味、計算法を習得する。物理学および工学の理論的組み立てを解析するために、3年生までに学んだ数学のすべての分野を利用する方法を学ぶ。そのため、これまでに学んだ数学のすべての知識が必要となる。		
到達目標	Laplace変換の使用法、Fourier級数の物理的な意味、数学的な意味を理解し、電気工学の諸問題に応用できるようになる。		
仙台高専学習・教育目標	A-1		
評価方法と基準	定期試験80%と課題20%とで評価し、60点以上を合格とする。		
教 科 書 参 考 書	書名：新訂 応用数学 著者：碓氷 久 他 発行所：大日本図書		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	Laplace変換	定義と基本的性質
	第 2 週	Laplace変換	定義と基本的性質
	第 3 週	Laplace変換	定義と基本的性質
	第 4 週	Laplace変換	逆Laplace変換
	第 5 週	Laplace変換	逆Laplace変換
	第 6 週	Laplace変換	逆Laplace変換
	第 7 週	Laplace変換	逆Laplace変換
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	Laplace変換の応用	微分方程式への応用
	第 10 週	Laplace変換の応用	微分方程式への応用
	第 11 週	Laplace変換の応用	微分方程式への応用
	第 12 週	Laplace変換の応用	たたみこみ
	第 13 週	Laplace変換の応用	たたみこみ
	第 14 週	Laplace変換の応用	電気回路の問題
	第 15 週	Laplace変換の応用	伝達関数とデルタ関数
	第 16 週	Laplace変換の応用	伝達関数とデルタ関数
後 期		期末試験	
	第 1 週	Fourier級数	周期2πの関数のFourier級数
	第 2 週	Fourier級数	周期2πの関数のFourier級数
	第 3 週	Fourier級数	一般周期の関数のFourier級数
	第 4 週	Fourier級数	一般周期の関数のFourier級数
	第 5 週	Fourier級数	複素Fourier級数
	第 6 週	Fourier級数	複素Fourier級数
	第 7 週	Fourier級数	偏微分方程式への応用
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	Fourier級数	偏微分方程式への応用
	第 10 週	Fourier級数	偏微分方程式への応用
	第 11 週	Fourier変換	Fourier変換の定義、逆Fourier変換
	第 12 週	Fourier変換	Fourier変換の性質と公式
	第 13 週	Fourier変換	偏微分方程式への応用
	第 14 週	Fourier変換	偏微分方程式への応用
	第 15 週	Fourier変換	偏微分方程式への応用
第 16 週	Fourier変換	スペクトル	
		期末試験	

科 目 名	応用数学		
科 目 名 (英 名)	Applied Mathematics		
学 年 ・ 学 科	4年・建築学科		
授 業 形 態	講義・学修2単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	白畑 洋		
授業の概要と注意	微積分で学んだ内容をふまえて、自然現象の解明に必要とされる微分方程式の解法およびその物理的な意味を理解するために、Laplace変換、Fourier級数を学び演習を交えてその意味、計算法を習得する。構造設計に関する様々な知識の習得を目的とする。確率統計の分野のうち推定、検定を学ぶ。物理学および工学の理論的組み立てを解析するために、3年生までに学んだ数学のすべての分野を利用する方法を学ぶ。そのため、これまでに学んだ数学のすべての知識が必要となる。		
到達目標	Laplace変換の使用法、Fourier級数の物理的な意味、数学的な意味を理解し、当該学科の関連科目の基礎を理解できること。教科書の練習問題、問題集の60%を自力で解けるようになる。		
仙台高専学習・教育目標	A-1		
評価方法と基準	定期試験80%と課題20%とで評価し、60点以上を合格とする		
教科書参考書	書名：新訂 応用数学 プリント 著者：碓氷 久 他 発行所：大日本図書		
授業計画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	Fourier級数	周期2πの関数のFourier級数
	第 2 週	Fourier級数	周期2π、一般周期の関数のFourier級数
	第 3 週	Fourier級数	一般周期の関数のFourier級数
	第 4 週	Fourier級数	複素Fourier級数
	第 5 週	Fourier級数	複素Fourier級数
	第 6 週	Fourier級数	偏微分方程式への応用
	第 7 週	Fourier級数	偏微分方程式への応用
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	Fourier変換	Fourier変換、逆Fourier変換
	第 10 週	Fourier変換	Fourier変換の性質と公式
	第 11 週	Fourier変換	偏微分方程式への応用
	第 12 週	Fourier変換	偏微分方程式への応用
	第 13 週	Fourier変換	偏微分方程式への応用、スペクトル
	第 14 週	Fourier変換	スペクトル
	第 15 週	確率統計	正規分布
	第 16 週	確率統計	平均値の推定・検定
		期末試験	
後 期	第 1 週	Laplace変換	定義
	第 2 週	Laplace変換	線形性、相似性
	第 3 週	Laplace変換	移動法則、微分法則
	第 4 週	Laplace変換	高次微分法則、積分法則
	第 5 週	Laplace変換	Laplace変換表、逆Laplace変換
	第 6 週	Laplace変換	逆Laplace変換
	第 7 週	Laplace変換	逆Laplace変換
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	Laplace変換の応用	微分方程式への応用
	第 10 週	Laplace変換の応用	微分方程式への応用
	第 11 週	Laplace変換の応用	微分方程式への応用
	第 12 週	Laplace変換の応用	たたみこみ
	第 13 週	Laplace変換の応用	電気回路の問題
	第 14 週	Laplace変換の応用	梁とたわみの問題
	第 15 週	Laplace変換の応用	伝達関数
	第 16 週	Laplace変換の応用	周波数応答
		期末試験	

科 目 名	応用数学		
科 目 名 (英 名)	Applied Mathematics		
学 年 ・ 学 科	4年・材料工学科		
授 業 形 態	講義・学修2単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	白畑 洋		
授業の概要と注意	微積分で学んだ内容をふまえて、自然現象の解明に必要とされる微分方程式の解法およびその物理的な意味を理解するために、Laplace変換、Fourier級数を学び演習を交えてその意味、計算法を習得する。構造設計に関する様々な知識の習得を目的とする。確率統計の分野のうち推定、検定を学ぶ。物理学および工学の理論的組み立てを解析するために、3年生までに学んだ数学のすべての分野を利用する方法を学ぶ。そのため、これまでに学んだ数学のすべての知識が必要となる。		
到達目標	Laplace変換の使用法、Fourier級数の物理的な意味、数学的な意味を理解し、当該学科の関連科目の基礎を理解できること。教科書の練習問題、問題集の60%を自力で解けるようになる		
仙台高専学習・教育目標	A-1		
評価方法と基準	定期試験80%と課題20%とで評価し、60点以上を合格とする。		
教科書参考書	書名：新訂 応用数学 プリント 著者：碓氷 久 他 発行所：大日本図書		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	Laplace変換	定義
	第 2 週	Laplace変換	線形性、相似性
	第 3 週	Laplace変換	移動法則、微分法則
	第 4 週	Laplace変換	高次微分法則、積分法則
	第 5 週	Laplace変換	Laplace変換表、逆Laplace変換
	第 6 週	Laplace変換	逆Laplace変換
	第 7 週	Laplace変換	逆Laplace変換
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	Laplace変換の応用	微分方程式への応用
	第 10 週	Laplace変換の応用	微分方程式への応用
	第 11 週	Laplace変換の応用	微分方程式への応用
	第 12 週	Laplace変換の応用	たたみこみ
	第 13 週	Laplace変換の応用	電気回路の問題
	第 14 週	Laplace変換の応用	梁とたわみの問題
	第 15 週	Laplace変換の応用	伝達関数
	第 16 週	Laplace変換の応用	周波数応答
		期末試験	
後 期	第 1 週	Fourier級数	周期2πの関数のFourier級数
	第 2 週	Fourier級数	周期2π、一般周期の関数のFourier級数
	第 3 週	Fourier級数	一般周期の関数のFourier級数
	第 4 週	Fourier級数	複素Fourier級数
	第 5 週	Fourier級数	複素Fourier級数
	第 6 週	Fourier級数	偏微分方程式への応用
	第 7 週	Fourier級数	偏微分方程式への応用
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	Fourier変換	Fourier変換、逆Fourier変換
	第 10 週	Fourier変換	Fourier変換の性質と公式
	第 11 週	Fourier変換	偏微分方程式への応用
	第 12 週	Fourier変換	偏微分方程式への応用
	第 13 週	Fourier変換	偏微分方程式への応用、スペクトル
	第 14 週	Fourier変換	スペクトル
	第 15 週	確率統計	正規分布
	第 16 週	確率統計	平均値の推定・検定
		期末試験	

科 目 名	応用数学		
科 目 名 (英 名)	Applied Mathematics		
学 年 ・ 学 科	4年・情報デザイン学科		
授 業 形 態	講義・学修2単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	井海寿俊		
授 業 の 概 要 と 注 意	微積分で学んだ内容をふまえて、自然現象の解明に必要とされる微分方程式の解法およびその物理的な意味を理解するために、Laplace変換、Fourier級数を学び演習を交えてその意味、計算法を習得する。Laplace変換は線形微分方程式で制御系の関係式などの解法に、Fourier級数は画像処理の波形解析、画像の鮮明化や振動問題の解析に用いられる。3年生までに学んだ数学のすべての分野を利用する方法を学ぶ。そのため、これまでに学んだ数学のすべての知識が必要となる。		
到 達 目 標	Laplace変換の使用法、Fourier級数の物理的な意味、数学的な意味を理解し、当該学科の関連科目の基礎を理解できること。教科書の練習問題、問題集の60%を自力で解けるようになる。		
仙台高専学習・教育目標	A-1		
評 価 方 法 と 基 準	定期試験80%と課題20%とで評価し、60点以上を合格とする。		
教 科 書 参 考 書	書名：新訂 応用数学 著者：碓氷 久 他 発行所：大日本図書		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	Fourier級数	周期2πの関数のFourier級数
	第 2 週	Fourier級数	周期2π、一般周期の関数のFourier級数
	第 3 週	Fourier級数	一般周期の関数のFourier級数
	第 4 週	Fourier級数	複素Fourier級数
	第 5 週	Fourier級数	複素Fourier級数
	第 6 週	Fourier級数	偏微分方程式への応用
	第 7 週	Fourier級数	偏微分方程式への応用
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	Fourier変換	Fourier変換、逆Fourier変換
	第 10 週	Fourier変換	積分公式
	第 11 週	Fourier変換	Fourier変換の性質と公式
	第 12 週	Fourier変換	Fourier変換の性質と公式
	第 13 週	Fourier変換	偏微分方程式への応用
	第 14 週	Fourier変換	偏微分方程式への応用
	第 15 週	Fourier変換	偏微分方程式への応用、スペクトル
	第 16 週	Fourier変換	スペクトル
			期末試験
後 期	第 1 週	Laplace変換	定義
	第 2 週	Laplace変換	線形性、相似性
	第 3 週	Laplace変換	移動法則、微分法則
	第 4 週	Laplace変換	高次微分法則、積分法則
	第 5 週	Laplace変換	Laplace変換表、逆Laplace変換
	第 6 週	Laplace変換	逆Laplace変換
	第 7 週	Laplace変換	逆Laplace変換
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	Laplace変換の応用	微分方程式への応用
	第 10 週	Laplace変換の応用	微分方程式への応用
	第 11 週	Laplace変換の応用	微分方程式への応用
	第 12 週	Laplace変換の応用	たたみこみ
	第 13 週	Laplace変換の応用	たたみこみ
	第 14 週	Laplace変換の応用	伝達関数とデルタ関数
第 15 週	Laplace変換の応用	伝達関数とデルタ関数	
第 16 週	Laplace変換の応用	伝達関数とデルタ関数	
		期末試験	

科 目 名	化学概論		
科 目 名 (英 名)	General Chemistry		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	遠藤智明・小野堯之		
授業の概要と注意	低学年での講義を踏まえて、化学の応用についての講義を行う。対象は、タンパク質、アミノ酸、糖に関する生化学、高分子、金属などの材料、薬品、染料、肥料などの機能性物質、専門分野への架け橋としての有機化学について講義を行う。講義は化学全般について広く深く行うので、復習を確実に行うこと。化学の詳細に入っていくので、復習を行うとともに、自分なりの学習法を早く確立すること。		
到達目標	基礎的な原子論、分子論、化学結合論を用いて世の中の化学現象、化学物質の性質等を理解し、その化学的解釈を自分の言葉で述べられるようにすること。		
仙台高専学習・教育目標	A-1		
評価方法と基準	期末試験 70%、レポート 30%で評価し、60点以上を合格とする。		
教科書	教科書：化学Ⅰ・Ⅱ 高等学校理科用文部科学省検定教科書 発行所：東京書籍 補助教科書：ダイナミックワイド図説化学 発行所：東京書籍		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	高分子概説	高分子化合物の理解
	第 2 週	生体高分子	糖・アミノ酸・タンパク質の理解
	第 3 週	金属・セラミックス	金属材料とセラミックス材料の理解
	第 4 週	生命の化学(1)	タンパク質。炭水化物、脂質の理解
	第 5 週	生命の化学(2)	代謝
	第 6 週	生命の化学(3)	酵素の働き
	第 7 週	医薬品・農薬の化学	薬品・肥料
	第 8 週	反応速度	反応速度式
	第 9 週	化学平衡	平衡定数
	第 10 週	原子軌道	原子の軌道
	第 11 週	分子軌道	化学結合について
	第 12 週	機能性分子	光と分子の関係
	第 13 週	有機化学への招待(1)	命名法
	第 14 週	有機化学への招待(2)	反応式、反応機構
	第 15 週	有機化学への招待(3)	有機化合物の分析方法
		第 16 週	総復習
		期末試験	
後 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

科 目 名	外国語 A		
科 目 名 (英 名)	Foreign Language A		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修2単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	菅野洋行		
授業の概要と注意	平易にして明快であり、かつ一定水準の知的レベルの味わいある文章に親しみ、その中の文法事項や表現を身につけて大意を正確に掴む力をつける。		
到達目標	大学1年レベルの力をつける。		
仙台高専学習・教育目標	C-2		
評価方法と基準	定期試験をもとに評価し60点以上を合格とする。		
教 科 書 参 考 書	教科書：Horrible Histories: England 編者：石原孝哉 他 発行所：南雲堂		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	Barmy Britons	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 2 週	〃	〃
	第 3 週	Island Invaders	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 4 週	〃	〃
	第 5 週	Miserable Middle Ages(1)	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 6 週	〃	〃
	第 7 週	Miserable Middle Ages(2)	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 8 週	〃	〃
	第 9 週	Creepy Country	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 10 週	〃	〃
	第 11 週	Batty Beliefs and Curious Customs	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 12 週	〃	〃
	第 13 週	The Revolting English(1)	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 14 週	〃	〃
	第 15 週	The Revolting English(2)	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 16 週	〃	〃
		期末試験	
後 期	第 1 週	Terrible Tudors and Slimy Stuarts(1)	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 2 週	〃	〃
	第 3 週	Terrible Tudors and Slimy Stuarts(2)	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 4 週	〃	〃
	第 5 週	Cruel Criminals(1)	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 6 週	〃	〃
	第 7 週	Cruel Criminals(2)	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 8 週	〃	〃
	第 9 週	Cruel Criminals(3)	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 10 週	〃	〃
	第 11 週	Gorgeous Georgians and Vile Victorians(1)	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 12 週	〃	〃
	第 13 週	Gorgeous Georgians and Vile Victorians(2)	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 14 週	〃	〃
	第 15 週	Woe for Workers	単語、文法、構文の理解と読解応用力
	第 16 週	〃	〃
	期末試験		

科 目 名	外国語 A		
科 目 名 (英 名)	Foreign Language A		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・履修2単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	田村蒸治		
授業の概要と注意	高校英語の復習として、特に科学随筆・研究論文・実験レポート・調査報告書・製品説明記事などを英語で正しく理解し、書くことができるように演習を行う。		
到 達 目 標	(1) 英文構造の理解に基づく正確な読解ができること (2) 意図する事項について、誤解の無い英文を書くことができること		
仙台高専学習・教育目標	C-2		
評 価 方 法 と 基 準	評価方法：定期試験（70%）と課題レポート（30%）で評価し、60点以上を合格とする。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とする。		
教 科 書 参 考 書	署名：Basic Technical English 科学技術英語の構文 著者：篠田義明 発行所：南雲堂		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	ガイダンス	科学分野の英文について知識を得る 英文を読み取り、意図した英文を作る
	第 2 週	The Growth of The Automobile	
	第 3 週	Electrons and Protons	
	第 4 週	Infrared Radiation	
	第 5 週	How Radar Works	
	第 6 週	The Automobile Engine	
	第 7 週	The Laser-bright Ray of Hope(1)	
	第 8 週	The Laser-bright Ray of Hope(2)	
	第 9 週	How The Gem Operates	
	第 10 週	Radio Broadcasting System	
	第 11 週	Stereophonic Radio	
	第 12 週	Rocket Boosters	
	第 13 週	Patents in The USA	
	第 14 週	The Restless Sea	
	第 15 週	The Growth of Steel	
	第 16 週	CM of Apollo	
		期末試験	
後 期	第 1 週	Basic Organization of Computers(1)	英文を読み取り、意図した英文を作る
	第 2 週	Basic Organization of Computers(2)	
	第 3 週	Analog Computer Techniques	
	第 4 週	for Studying Traffic Problems	
	第 5 週	The Role of Research	
	第 6 週	Proportioning Concrete Mixtures	
	第 7 週	Some Advantages of Prefabrication	
	第 8 週	Solid State	
	第 9 週	Room Air Conditioner	
	第 10 週	Refrigeration	
	第 11 週	Measuring Stresses	
	第 12 週	Folding and Inserting Machine	
	第 13 週	From Now On Judging Computers	
	第 14 週	Preventive Maintenance	
	第 15 週	New Products	
	第 16 週	How to Care for Your Typewriter	
	期末試験		

科 目 名	外国語 A		
科 目 名 (英 名)	Foreign Language A		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修2単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	佐藤 恵		
授業の概要と注意	TOEICの問題演習（リスニング、リーディング）を通して、TOEICの解答に必要な語彙、文法、表現を整理する。 英和辞書を持参すること。		
到達目標	3年次まで学習した語彙、文法、構文等を確認し、英語を正しく読む力、聴く力を向上させることを目的とする。		
仙台高専学習・教育目標	C-2		
評価方法と基準	定期試験80%と小テスト・課題20%で評価し、60点以上を合格とする。		
教 科 書 参 考 書	書名:Navigator for the TOEIC Test 著者:Donald Beaver 他 発行所:南雲堂		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	L.1 Headhunting	リスニング 消える音（1）
	第 2 週	L.2 The Internet	リーディング 動詞
	第 3 週	L.3 Wedding	リスニング 消える音（2）
	第 4 週	復習	
	第 5 週	L.4 Corporate Culture	リーディング 時制
	第 6 週	L.5 Music	リスニング 応答の予測
	第 7 週	L.6 Movies	リーディング 形容詞
	第 8 週	復習	
	第 9 週	L.7 Sightseeing	リスニング 一つになる音
	第 10 週	L.8 Recruiting	リーディング 名詞
	第 11 週	L.9 Shopping	リスニング 音の短縮
	第 12 週	復習	
	第 13 週	L.10 Weather Forecasts	リーディング 分詞構文
	第 14 週	L.11 Customs	リスニング つながる音（1）
	第 15 週	L.12 Crime	リーディング 不定詞
		第 16 週	復習
		期末試験	
後 期	第 1 週	L.13 New Products	リスニング つながる音（2）
	第 2 週	L.14 Global Warming	リーディング 動名詞
	第 3 週	L.15 Health	リスニング 無声化する音
	第 4 週	復習	
	第 5 週	L.16 Parties	リーディング 一致
	第 6 週	L.17 Skiing	リスニング 有声化する音
	第 7 週	L.18 Travel	リーディング 関係詞
	第 8 週	復習	
	第 9 週	L.19 Dating	リスニング 弱くなる音
	第 10 週	L.20 Hospitals	リーディング 接続詞
	第 11 週	L.21 Advertising	リスニング 音の弱形と強形
	第 12 週	復習	
	第 13 週	L.22 Opportunities	リーディング 仮定法
	第 14 週	L.23 Employment	リスニング 区別しにくい音
	第 15 週	L.24 Banking / Finance	リーディング 否定
		第 16 週	復習
		期末試験	

科 目 名	外国語B		
科 目 名 (英 名)	Foreign Language B		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修2単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	佐藤安功		
授業の概要と注意	毎回少しずつ習いますので、そのたびに身に付けて下さい。予習が必要です。現代のドイツの事情についても言及いたします。文法や語彙など英語に似ていますので、英語を理解する上で助けになります。		
到達目標	ドイツ語の文法を身につける。ドイツ語の文法に従って、文章が読める。		
仙台高専学習・教育目標	C-2		
評価方法と基準	前期・後期期末試験平均60点以上		
教 科 書 参 考 書	『あなたのドイツ語Deutsch bei Dir』 同学社 『エクセル独和辞典』 郁文堂		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	会話	格の定義
	第 2 週	動詞の人称変化	冠詞の格変化
	第 3 週	定冠詞/不定冠詞	
	第 4 週	一練習問題	前置詞の格支配
	第 5 週	前置詞	形容詞の変化
	第 6 週	形容詞	人称代名詞の格変化
	第 7 週	人称代名詞	
	第 8 週	一練習問題	比較級と最高級
	第 9 週	比較級	規則動詞と強変化動詞
	第 10 週	過去形	haben/sein支配と過去分詞
	第 11 週	現在完了形	
	第 12 週	一練習問題	大過去
	第 13 週	過去完了	枠構文
	第 14 週	助動詞	
	第 15 週	一練習問題	
	第 16 週	復習	
		期末試験	
後 期	第 1 週	会話	分離と非分離
	第 2 週	分離動詞	
	第 3 週	一練習問題	従属の接続詞/従属節
	第 4 週	接続詞	
	第 5 週	一練習問題	受身構文
	第 6 週	受身	
	第 7 週	一練習問題	再帰代名詞と再帰動詞
	第 8 週	再帰動詞	
	第 9 週	一練習問題	先行詞と関係代名詞
	第 10 週	関係代名詞	
	第 11 週	一練習問題	間接話法/非現実の表現
	第 12 週	接続法	
	第 13 週	一練習問題	
	第 14 週	復習	
	第 15 週	復習	
第 16 週	復習		
	期末試験		

科 目 名	英語・英米文学 A		
科 目 名 (英 名)	English and English-American Literature A		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	佐藤 恵		
授業の概要と注意	古典古代、中世、ルネサンス、近現代の文学作品を取り上げ、原書と映像を通して鑑賞し、文学の面白さと時代や文化を越えて普遍の人間精神の奥深さを味わう。		
到達目標	文学作品を原書で読む力をつけるとともに、その内容を解釈し、それに対する意見、批判、感想などを論理的にまとめることができる。また、作品の背景に描かれる欧米の文化に関して、その時代ごとの歴史、思想、芸術などの視点から理解を深める。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	評価方法：定期試験(70%)と課題(30%)で評価し、60点以上を合格とする。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とする。		
教 科 書 参 考 書	オリジナルプリントを使用する。		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	ガイダンス	授業の計画と進め方について
	第 2 週	現代アメリカ小説の原書講読	現代アメリカ小説の原書を読解する
	第 3 週	現代アメリカ小説の映画視聴	古代～現代のヨーロッパ文化を理解する
	第 4 週	ギリシア神話の内容確認	ギリシア神話の成立、物語を理解する
	第 5 週	ギリシア悲劇の内容確認	悲劇の起源、物語を理解する
	第 6 週	中世騎士物語の内容確認	ヨーロッパ中世の文学と文化を理解する
	第 7 週	中世騎士物語の映画視聴	同上
	第 8 週	同上	同上
	第 9 週	シェイクスピア作品の原書講読	ルネサンス期の文学の原書を読解する
	第 10 週	同上	同上
	第 11 週	シェイクスピア作品の映画視聴	ルネサンス期の文学と文化を理解する
	第 12 週	同上	同上
	第 13 週	近代フランス文学の原書講読	19世紀ヨーロッパの文学を理解する
	第 14 週	近代フランス文学のドラマ視聴	19世紀ヨーロッパの文化を理解する
	第 15 週	同上	同上
	第 16 週	同上	同上
	期末試験		
後 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

科 目 名	日本文学 A		
科 目 名 (英 名)	Japanese Literature A		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	空井伸一		
授業の概要と注意	日本近世文学、江戸の印刷にみる「表現」を通じて、文学・文化・思想の歴史を学ぶことにより、工業技術者が社会人として求められる教養の一端を培うことを目標にします。国際的な視野が求められる時代であるからこそ、「自文化」について知ることがますます重要になります。この講義がその一助となるよう考えています。		
到達目標	文章理解・表現の能力を確実にし、文学・思想・歴史についての基本的な知識を身につけることを目標とします。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	評価方法：定期試験を80%、およびレポート・出席を20%で評価します。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とします。		
教科書	プリントを用意します。辞書・便覧などは手持ちのものを活用すること。		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	はじめに：江戸の印刷文化について	和本・和紙の利点、日本の出版事情
	第 2 週	「くずし字」の概要 1：町の看板から	現代のくずし字文化について
	第 3 週	「くずし字」の概要 2：どどいつなど	くずし字の基本について
	第 4 週	鳥山石燕の「妖怪画」その1	古時刻・古方位について
	第 5 週	鳥山石燕の「妖怪画」その2	江戸の闇について
	第 6 週	板本鑑賞その1	江戸の「大人のマンガ」について
	第 7 週	板本鑑賞その2	江戸のヴィジュアル文化：錦絵について
	第 8 週	板本鑑賞その3	江戸のヴィジュアル文化：浮絵について
	第 9 週	板本鑑賞その4	江戸の消費経済、西洋との通底について
	第 10 週	板本鑑賞その5	江戸の未来記、SFについて
	第 11 週	板本鑑賞その6	江戸の広告術について
	第 12 週	板本鑑賞その7	江戸の「美人」について
	第 13 週	板本鑑賞その8	江戸のメイク、ファッションについて
	第 14 週	板本鑑賞その9	江戸の健康事情について
	第 15 週	板本鑑賞その10	「ジャポニスム」について
		第 16 週	総論
		期末試験	
後 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

科 目 名	比較文化論 A		
科 目 名 (英 名)	Comparative Cultures A		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	佐藤安功		
授業の概要と注意	フランス語の会話、文法、読解に親しみます。せっかくの機会、フランス語で遊びましょう。Je pense que il est sûrement très intéressant pour vous d'apprendre le français à cette bonne occasion; profitez-en bien ! Vous pouvez peut-être parler le français à Paris! Mais avec qui ?		
到達目標	簡単なフランス語会話ができる。基本的な文法が使える。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	期末試験60点以上		
教 科 書 参 考 書	『スケッチでフランス語を』第三書房		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	leçon 1	名詞の性と数 不定冠詞と定冠詞 疑問文 否定文 動詞êtreとavoir - er動詞 aimer, manger, parler... 形容詞の性と数 形容詞の位置 未来形と過去形 - ir動詞 finir tenir, 数字 疑問代名詞 人称代名詞
	第 2 週	Voilà un livre	
	第 3 週	leçon 2	
	第 4 週	Pierre est à la maison	
	第 5 週	;exercices	
	第 6 週	leçon 3	
	第 7 週	une nouvelle maison	
	第 8 週	leçon 4	
	第 9 週	Elle aime la musique	
	第 10 週	;exercices	
	第 11 週	leçon 5	
	第 12 週	Il y a trois garçons	
	第 13 週	leçon 6	
	第 14 週	Au téléphone	
	第 15 週	;exercices	
	第 16 週	;exercices	
後 期	第 1 週	期末試験	
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

科 目 名	芸術論 A		
科 目 名 (英 名)	Art Study A		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	仙石 桂		
授業の概要と注意	クラシック音楽の歴史と成り立ちを、各々の時代のヨーロッパ文化の背景と共に学習する。		
到達目標	我々の日常生活に密接に関わる音楽の構造を歴史的観点から理解する。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	各時間の鑑賞レポート20%、学期末レポート80%		
教科書			
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	ガイダンス	
	第 2 週	音の種類、生活と音楽	生活と音楽のつながりを認識理解する
	第 3 週	音楽史(1)ギリシャ〜ルネサンス	時代背景と音楽の構造を理解する
	第 4 週	〃 (2)バロック時代	〃
	第 5 週	〃 (3)古典派	〃
	第 6 週	映画鑑賞「アマデウス」(1)	モーツァルトの生涯と音楽を理解する
	第 7 週	映画鑑賞「アマデウス」(2)	モーツァルトの生涯と音楽を理解する
	第 8 週	ハンドベル演奏(1)	演奏の基礎を習得する
	第 9 週	〃 (2)	協力して演奏する楽しさを味わう
	第 10 週	〃 (3)	〃
	第 11 週	音楽史(4)ロマン派	時代背景と音楽の構造を理解する
	第 12 週	〃 (5)国民楽派	〃
	第 13 週	楽典、コードネーム	楽譜の読み方、コードネームを理解する
	第 14 週	音楽史(6)近・現代の音楽	時代背景と音楽の構造を理解する
	第 15 週	ミュージカル鑑賞	ミュージカルの構造を理解し、楽しむ
	第 16 週	〃	〃
後 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

科 目 名	科学技術史 A		
科 目 名 (英 名)	History of Science A		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	石山純一		
授業の概要と注意	科学（自然科学）は、生物をふくむ一切の自然現象の仕組みや働きを客観的・体系的に研究して、普遍的な法則を確立していくことである。ここでは、特に生物学の歴史と生命の考え方から、生命科学とはなにか、生命科学の方法とはどのようなものかを、生命倫理も含めて考えていきたい。よく講義を聴き、考え、自分なりの仮説をたて、それを証明するにはどうすれば良いかを工夫する。適宜、プリントやビデオ等を使用する予定である。		
到達目標	生物学の歴史と生命観の変遷を学ぶとともに、生物学の方法論や生物学と人間との関係について、生物学および社会学的観点から考察できる。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	期末試験70%、レポート30%で評価する。		
教 科 書 参 考 書	「よくわかる基礎生命科学－生物学の歴史と生命の考え方－」 著者：八杉貞雄，発行所：サイエンス社		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	生命科学の歴史と生命観の変遷(1)	古代から中世へ
	第 2 週	生命科学の歴史と生命観の変遷(2)	世界の広がりと博物学(13～18世紀)
	第 3 週	生命科学の歴史と生命観の変遷(3)	生体の構造と機能の研究(15～18世紀)
	第 4 週	生命科学の歴史と生命観の変遷(4)	進化論と生命科学の革命(19～20世紀)
	第 5 週	生命科学の歴史と生命観の変遷(5)	遺伝学と分子生物学(20世紀)
	第 6 週	生命の特質と生命科学(1)	生物とは何か
	第 7 週	生命の特質と生命科学(2)	生命の進化、自己増殖、個体発生
	第 8 週	生命の特質と生命科学(3)	恒常性の維持、生物社会の構造と還元性
	第 9 週	生命の特質と生命科学(4)	生命現象と目的論、生物学の構造
	第 10 週	生命科学方法論(1)	生命科学の特質
	第 11 週	生命科学方法論(2)	生命科学の研究における客観性と誤謬
	第 12 週	人間の本質と生命科学(1)	生命科学と宗教
	第 13 週	人間の本質と生命科学(2)	決定論と自由意志、人間の本質
	第 14 週	人間の本質と生命科学(3)	文化と倫理の進化
	第 15 週	21世紀の生命科学(1)	医療の倫理と生命科学
	第 16 週	21世紀の生命科学(2)	環境の保護と生命科学
		期末試験	
後 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

科 目 名	英語・英米文学B		
科 目 名 (英 名)	English and English-American Literature B		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	佐藤 恵		
授業の概要と注意	英字新聞のリーディング、ニュースのリスニング、ドラマ、映画の視聴を通じて、日常生活の中で実際に使用されている生きた英語に触れる。 英和辞典、音声を再生できる機器を準備しておくこと。		
到達目標	新聞記事、ニュース、映画などの中で使用されている英語表現を習得し、英語運用能力を高めることを目標とする。また、現代社会において問題となっている事柄に関心を持ち、それらに対して自分の意見を論理的にまとめる力を養う。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	評価方法：定期試験(70%)と課題(30%)で評価し、60点以上を合格とする。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とする。		
教 科 書 参 考 書	オリジナルプリントを使用する。		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		
後 期	第 1 週	ガイダンス	授業の計画と進め方について 時事英語の特徴を理解する 聴き取れるまで繰り返し聴く。聴き取ったニュースの内容に関して意見をまとめる。 字幕つきで視聴し、内容を理解する。シナリオ確認後、字幕なしで英語を聴き取る。内容に関して感想を英語で書く。 映像と英語による説明を通して、内容を理解する。内容に関して意見をまとめる。
	第 2 週	英字新聞を読む	
	第 3 週	英語ニュースのリスニング	
	第 4 週	同上	
	第 5 週	同上	
	第 6 週	ドラマ・映画の視聴	
	第 7 週	同上	
	第 8 週	同上	
	第 9 週	同上	
	第 10 週	同上	
	第 11 週	ドキュメンタリー番組の視聴	
	第 12 週	同上	
	第 13 週	同上	
	第 14 週	同上	
	第 15 週	同上	
	第 16 週	同上	
	期末試験		

科目名	日本文学B		
科目名(英名)	Japanese Literature B		
学年・学科	4年・全学科		
授業形態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担当教員	千葉正昭		
授業の概要と注意	日本近代文学と薬の関係を、可能な限り検討することを主眼とする。薬が小説成立のひとつの原動力になっていたことを、証明したいというのが開講者の願いである。		
到達目標	文章理解・表現の能力を確実にし、文学・思想・歴史についての基本的な知識を身につけることを目標とする。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	評価方法：定期試験を80%、およびレポート・出席を20%で評価する。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とする。		
教科書	教室にて指示する。		
授業計画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前期	第1週		
	第2週		
	第3週		
	第4週		
	第5週		
	第6週		
	第7週		
	第8週		
	第9週		
	第10週		
	第11週		
	第12週		
	第13週		
	第14週		
	第15週		
	第16週		
後期	第1週	有吉佐和子『花岡青洲の妻』	授業の概要について説明
	第2週	泉鏡花『外科室』	作品鑑賞
	第3週	映像・坂東玉三郎監督『外科室』鑑賞	作品鑑賞
	第4週	ブルガーコフ『モルヒネ』	作品鑑賞
	第5週	太宰治『HUMAN LOST』	作品鑑賞
	第6週	川口松太郎『媚薬』	作品鑑賞
	第7週	遠藤周作『海と毒薬』	作品鑑賞
	第8週	映像・熊井啓監督『海と毒薬』鑑賞	作品鑑賞
	第9週	川端康成『眠れる美女』	作品鑑賞
	第10週	村上龍『超伝導ナイトクラブ』	作品鑑賞
	第11週	奥田英朗『オーナー』	作品鑑賞
	第12週	リリー・フランキー『東京タワー』	作品鑑賞
	第13週	映像・松岡錠司監督『東京タワー』鑑賞	作品鑑賞
	第14週	モブ・ノリオ『介護入門』	作品鑑賞
	第15週	まとめ	まとめ
	第16週	総論	総論
	期末試験		

科 目 名	比較文化論B		
科 目 名 (英 名)	Comparative Cultures B		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	田村蒸治		
授業の概要と注意	異文化の中で日常生活をしていくための知識と技術を、アメリカ合衆国の東部から西部まで横断する中で、各都市の実情を検証しながら学習します。また、仙台市と姉妹都市として交流のあるRiversideでの日本庭園建設に際しての異文化体験も学習します。		
到達目標	日本の文化と違う文化体験をするとき、事故無く対応し、生活していくことができるための知識を得て、それを発展応用していくことのできる能力を獲得することを目標とします。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	授業ごとに行う小論文課題を評価対象とするが、その内容は英文を読み取り、それに対する意見を述べる形になる。基準は目標に照らして、英文内容を誤り無く理解し、それに基づいて自分なりの対応ができる意見を述べているかどうかを見る。		
教 科 書 参 考 書	CIEEの出版物から引用した文献や、その他の具体的英文資料を、授業者が準備して提供する。		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		
後 期	第 1 週	概論 米国史と地理的特性について	米文化及び他文化理解のヒントを得る
	第 2 週	1. New York	入国審査とホテルの英語の理解
	第 3 週	2. New York	食事を取る場面の理解
	第 4 週	3. Washington	スミソニアン博物館の理解
	第 5 週	4. Roanoke, Virginia	G. ワシントンと奴隷制度の理解
	第 6 週	5. New Orleans, Louisiana	植民地とジャズの理解
	第 7 週	6. Houston, Austin, Texas	ロケット管制センターの知識
	第 8 週	7. Houston, Austin, Texas	州立大学の概要理解
	第 9 週	8. Carlsbad, New Mexico	鍾乳洞の知識
	第 10 週	9. Santa Fe, Albuquerque, New Mexico	メキシコ戦争の理解
	第 11 週	10. Grand Canyon	世界遺産の地勢の理解
	第 12 週	11. Grand Canyon	世界遺産の中の動植物の理解
	第 13 週	12. San Francisco, California	ベイエリアについての考察
	第 14 週	13. San Mateo, California	アメリカの地方都市の理解
	第 15 週	14. Riverside, California	仙台市の姉妹都市の理解
	第 16 週	15. Riverside, California	姉妹都市交流の理解

科 目 名	芸術論B		
科 目 名 (英 名)	Art Study B		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	仙石 桂		
授業の概要と注意	クラシック音楽で使用される楽器について、歴史的成り立ちから演奏法まで理解し、鑑賞する。		
到達目標	各楽器の音色を聞き分け、発音の仕組みを理解する。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	各時間の鑑賞レポート20%、学期末レポート80%		
教 科 書 参 考 書			
授 業 計 画	授業項目		授業項目に対する達成目標
前 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		
後 期	第 1 週	ガイダンス	
	第 2 週	弦楽器について	楽器の構造・歴史などについて理解する
	第 3 週	管楽器について	〃
	第 4 週	鍵盤楽器について	〃
	第 5 週	指揮について	指揮者の本質に触れ、理解する
	第 6 週	打楽器について	楽器の構造・歴史などについて理解する
	第 7 週	〃	〃
	第 8 週	ハンドベル演奏(1)	演奏の基礎を習得する
	第 9 週	〃 (2)	協力して演奏する楽しさを味わう
	第 10 週	〃 (3)	音色をよく聞き、完成度を高める
	第 11 週	楽曲分析	音符のよみ方、楽譜・意味等を理解する
	第 12 週	声楽について	声楽曲に親しみ、演奏する
	第 13 週	〃	〃
	第 14 週	オペラ鑑賞(1)	オペラの構造を理解し、楽しめる
	第 15 週	〃 (2)	〃
	第 16 週	〃 (3)	〃

科 目 名	科学技術史B		
科 目 名 (英 名)	History of Science & Technology B		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	桜庭 弘		
授業の概要と注意	1950年代に展開されたアメリカの有人宇宙計画、マーキュリー、ジェミニの各ミッション、および1960年～1970年代初頭までに展開された、人類史上初の月着陸を達成したアポロ計画について講義する。 自分の大好きな曲の入った携帯音楽プレーヤ (3.5φステレオヘッドホン端子付) を携帯することが望ましい。		
到達目標	人類が成し遂げた月着陸という偉業にいたる歴史的な経緯と、科学技術におけるアポロ計画の位置付けを知ること。そこから、自らの勉強や人生のモチベーションを正確につかみ、なりたい自分になる方法を知ることがこの授業の目標である。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	定期試験60%、授業ごとの小レポート40%で評価する。100点満点で評価し、60点以上を合格とする。		
教科書	人類、月に立つ(上,下) アンドルー・チェイキン 日本放送出版協会 FROM THE EARTH TO THE MOON, Tom Hanks, Ron. Howard, HBO, DVD		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		
後 期	第 1 週	1. ガイダンス(1)	履修科目の概要説明と履修科目の選択 シラバスの説明と本授業の受け方 アポロ計画と、当時の社会的な背景 アポロ計画と、当時の社会的な背景 アポロ1号の悲劇 アポロに搭載されたコンピュータ ビッグバン宇宙論、「自然なこと」とは自分なりの宇宙観、「指数関数的」とはNASAの得た教訓と復活、離昇 月着陸船開発にかけた、技術者の魂 月着陸を成し遂げた要因 アラン・シェパードの信念 宇宙開発と科学技術 最後のアポロ、歴史をつくる人々 宇宙の中での人類、人類の中での自分
	第 2 週	2. ガイダンス(2)	
	第 3 週	3. 1968年 アポロ8号の軌跡	
	第 4 週	4. 1961年 MercuryとGeminiの軌跡	
	第 5 週	5. 1967年 アポロ1号の悲劇	
	第 6 週	6. アポロと電子工学の係わり	
	第 7 週	7. 科学的宇宙観の形成(II)	
	第 8 週	8. 科学的宇宙観の形成(II)	
	第 9 週	9. 1968年 アポロ7号の軌跡	
	第 10 週	10. 1969年 月着陸船の開発	
	第 11 週	11. 1969年 月着陸船の開発	
	第 12 週	12. 1971年 アポロ14号の軌跡	
	第 13 週	13. 1971年 アポロ15号の軌跡	
	第 14 週	14. 1972年 アポロ17号の見たもの	
	第 15 週	15. 2008年 宇宙の地球の人間の自分	
	第 16 週	16. まとめ	
	期末試験		

科 目 名	日本語			
科 目 名 (英 名)	Japanese			
学 年 ・ 学 科	4年・留学生			
授 業 形 態	講義・履修4(2/4)単位・必修・週2時間			
担 当 教 員	島田幸子			
授 業 の 概 要 と 注 意	様々な課題を通して日本語能力試験2級レベルの力を確実にする。 進捗によっては1級合格レベルも視野に入れた内容を授業項目に加えていく。 公的・社会的な場面で通用する日本語力やふるまい・マナーを身につける練習や 将来計画・志望動機などを口頭や記述で伝える練習も行う。 積極的な取り組みが求められる。			
到 達 目 標	4技能(聞/読/話/書)のバランスが取れた日本語運用力を身につけること。 口頭表現力(説明・報告・発表・スピーチなど)と記述力を向上させること。 将来計画・志望動機などについて口頭および記述で伝えられること。 公的・社会的場面での日本語力やふるまいを身につけること。			
仙台高専学習・教育目標				
評 価 方 法 と 基 準	評価方法：課題、演習、小テスト、復習試験を総合して評価する。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とする。			
教 科 書 参 考 書	書名：文化中級Ⅰ・Ⅱ 発行所：凡人社 などから適宜選択して使用する。 日本語能力試験対策本各種			
授 業 計 画	授 業 項 目	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標		
前 期	第 1 週	日本はどんな国	漢(音訓)	グラフ情報を読み取る
	第 2 週	お互い相手はどう見える	漢(同音)	意見/要望を伝える婉曲表現
	第 3 週	投書(若者/包装/挨拶)を読む	漢(同訓)	意見を読み取る・意見を述べる/書く
	第 4 週	意見を言いたい時の疑問文	漢(類語)	意見強調疑問文を正しく理解し使える
	第 5 週	否定「ない」に注意	漢(類語)	二重否定文を正しく理解し使える
	第 6 週	文末表現/言換え表現の整理	漢(復習)	正しく理解し使える
	第 7 週	ニュースと新聞		必要な情報の受信と発信ができる
	第 8 週	前半の学習内容をふりかえる		前半の学習内容の復習と確認
	第 9 週	日本の食文化		食文化の背景を知る
	第 10 週	元気が出る食べ物・国の料理		いくつかの視点を盛り込んで書く/発表
	第 11 週	ステレオタイプって何ですか		段落構成・内容をつかむ
	第 12 週	何でも食べよう・私の主張		スピーチの主張をつかむ・構成を考える
	第 13 週	私の主張：スピーチ発表とお互いの評価		スピーチをする・聞いて項目で評価する
	第 14 週	今よろしいですか		待遇表現が使える
	第 15 週	お礼と報告の手紙		目上の人にお礼や報告の手紙が書ける
	第 16 週	復習試験・試験返却と解説		復習試験・確認・解説
後 期	第 1 週	夏休み中の経験について(話/書)		休み中の見聞や感想を伝えられる
	第 2 週	豊かな言葉：日本語について		母国語と日本語を比べて特徴を伝える
	第 3 週	なるほど言葉の由来・慣用句/ことわざ		言葉の由来や慣用句等を考え発表する
	第 4 週	日本の歴史(1)時代の流れ		歴史の流れ/人物/土地の知識を得る
	第 5 週	日本の歴史(2)茶道/日本間など		文化的なものの歴史を知る
	第 6 週	日本の旅行ガイド		地形/気候/観光地の知識を学ぶ
	第 7 週	研修旅行の経験を伝える(話/書)		経験を伝えられる
	第 8 週	前半の学習内容をふりかえる		前半の学習内容の復習と確認
	第 9 週	日本でみつけたこんな物(発表)		調べて紹介する(書く/発表) テーマの語彙/表現を使い意見を述べる
	第 10 週	生活と環境：環境問題を考える		
	第 11 週	高専で力を入れたこと・挑戦したこと		公的な場所で伝えられる(口頭/記述)
	第 12 週	留学生研修旅行での経験を伝える		公的な場所で伝えられる(口頭/記述)
	第 13 週	将来計画・抱負・関心事・自分について		公的な場所で伝えられる(口頭/記述)
	第 14 週	将来計画・抱負・関心事・自分について		公的な場所で伝えられる(口頭/記述)
	第 15 週	志望動機などを伝える(話す/書く)		公的な場所で伝えられる(口頭/記述)
	第 16 週	面接の練習		公的な場所で伝えられる(口頭/記述)

科 目 名	日本語		
科 目 名 (英 名)	Japanese		
学 年 ・ 学 科	4年・留学生4年		
授 業 形 態	講義・履修4(2/4)単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	小島判子		
授 業 の 概 要 と 注 意	日本語能力試験2級合格をめざし、その受験対策として、さまざまな練習問題や課題に取り組み総合的に日本語運用力を伸ばして行く年になる。また今後は外部との接触の機会も多くなると思われるので、特に、礼儀作法、挨拶、マナーなどを身につけることが必要である。言葉の理解力、会話力ばかりでなく、言葉使いもしっかりと学んで行くことが肝心である。		
到 達 目 標	中級漢字、語彙、文法を中心に、中級以上の日本語を、確実に身につけること、日本語能力試験2級に合格出来るように練習問題を多くこなし、4年生としての学力のレベルアップと良い結果を出すことが目標である。		
仙台高専学習・教育目標			
評 価 方 法 と 基 準	評価方法：練習課題結果と復習試験結果を総合して評価する。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とする。		
教 科 書 参 考 書	書名：2級対策問題集各種、 書名：中級から学ぶ日本語 発行所：研究社		
授 業 計 画	授 業 項 目	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標	
前 期	第 1 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 2 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 3 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 4 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 5 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 6 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 7 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 8 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 9 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 10 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 11 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 12 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 13 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 14 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 15 週	復習試験	学習の確認
	第 16 週	試験返却と解説	試験結果の解説
後 期	第 1 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 2 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 3 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 4 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 5 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 6 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 7 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 8 週	2級対策(文法・漢字・語彙・会話)	2級合格レベルの日本語力養成
	第 9 週	中級からの日本語：5課たべる	2級レベル日本語の運用力養成
	第 10 週	中級からの日本語：6課あそぶ	2級レベル日本語の運用力養成
	第 11 週	中級からの日本語：7課いう	2級レベル日本語の運用力養成
	第 12 週	中級からの日本語：8課かざる	2級レベル日本語の運用力養成
	第 13 週	中級からの日本語：9課あらかわす	2級レベル日本語の運用力養成
	第 14 週	中級からの日本語：10課いきる	2級レベル日本語の運用力養成
	第 15 週	中級からの日本語復習試験	2級レベル運用力の確認
	第 16 週	試験返却と解説	試験結果の解説

科 目 名	外国語 A		
科 目 名 (英 名)	Foreign Language A		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修2単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	佐藤和彦		
授業の概要と注意	これまでに学習した英語に関する文法などの知識を基本にして、TOEICに対応できるような問題演習を行なう。また、自学自習の課題レポートを課し、評価に反映させるので注意すること。		
到達目標	1)TOEICの試験を不安なく受験することができるようになること。 2)連携科目(英語講読・英語表現・総合英語・4年外国語A)で学習したことをTOEIC受験に役立てることができるようになること。		
仙台高専学習・教育目標	C-2		
評価方法と基準	定期試験70%、自学自習課題レポート・レポート試験30%で評価し、60点以上を合格とする。		
教科書参考書	Get Your Best Marks for the TOEIC Test! : 鶴岡公幸・Gary Malmgren : 松柏社 各種辞書・関連科目で使用した教科書など		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	TOEICについて	TOEICについて理解できる 動詞を中心に復習し、オフィスで必要になるような英語の語彙が理解できること。 質問のパターンを中心に復習し、新聞・雑誌を理解するときに必要な語彙が理解できること。 文法問題・語彙問題の区別を中心に復習し、国際会議で必要となる語彙が理解できること。
	第 2 週	オフィス①	
	第 3 週	〃	
	第 4 週	〃	
	第 5 週	〃	
	第 6 週	新聞・雑誌	
	第 7 週	〃	
	第 8 週	〃	
	第 9 週	〃	
	第 10 週	国際会議	
	第 11 週	〃	
	第 12 週	〃	
	第 13 週	〃	
	第 14 週	〃	
	第 15 週	課題レポート指導	
	第 16 週	〃	
後 期		期末試験	
	第 1 週	マーケティング	問題の形式の区別を中心に復習し、マーケティングで必要となる語彙が理解できるようになる。 話題の区別を中心に復習し、金融で必要となる語彙が理解できるようになる。 TOEICという試験の特徴を中心に復習し、不動産で必要となる語彙が理解できるようになる。
	第 2 週	〃	
	第 3 週	〃	
	第 4 週	〃	
	第 5 週	〃	
	第 6 週	金融	
	第 7 週	〃	
	第 8 週	〃	
	第 9 週	〃	
	第 10 週	〃	
	第 11 週	不動産	
	第 12 週	〃	
	第 13 週	〃	
	第 14 週	〃	
	第 15 週	課題レポート指導	
第 16 週	〃		
	期末試験		

科 目 名	外国語 A		
科 目 名 (英 名)	Foreign Language A		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修2単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	佐々木誠逸		
授業の概要と注意	過去に行われた大学入学試験、編入学試験の問題を主要教材とし、大学編入学に必要な語彙力、文法力、読解力の養成を目指す。		
到達目標	単語、文法、構文を正確に理解しながら、大学2年レベルの英語長文を読解できるようになること。		
仙台高専学習・教育目標	C-2		
評価方法と基準	評価方法：定期試験をもとに評価し60点以上を合格とする。 評価基準：上記の到達目標を達成していることを基準とする。		
教 科 書 参 考 書	編入学試験問題、大学入試問題の過去問の、オリジナルプリントを使用する。		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	ガイダンス	授業の計画と進め方、プリント配布 文法の復習、長文読解
	第 2 週	編入学試験問題・大学入試問題	
	第 3 週	同上	
	第 4 週	同上	
	第 5 週	同上	
	第 6 週	同上	
	第 7 週	同上	
	第 8 週	同上	
	第 9 週	同上	
	第 10 週	同上	
	第 11 週	同上	
	第 12 週	同上	
	第 13 週	同上	
	第 14 週	同上	
	第 15 週	同上	
	第 16 週	同上	
		期末試験	
後 期	第 1 週	編入学試験問題・大学入試問題	文法の復習、長文読解
	第 2 週	同上	
	第 3 週	同上	
	第 4 週	同上	
	第 5 週	同上	
	第 6 週	同上	
	第 7 週	同上	
	第 8 週	同上	
	第 9 週	同上	
	第 10 週	同上	
	第 11 週	同上	
	第 12 週	同上	
	第 13 週	同上	
	第 14 週	同上	
	第 15 週	同上	
	第 16 週	同上	
		期末試験	

科 目 名	外国語 A		
科目名 (英名)	Foreign Language A		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修2単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	佐藤 恵		
授業の概要と注意	TOEICの問題演習（リスニング、リーディング）を継続的に行い、TOEICを解答するのに必要な語彙、文法、構文等を確認し、整理する。 英和辞書を持参すること。		
到達目標	TOEICの問題演習を通して、英語を正しく読む力、聴く力の向上を目指すとともに、TOEICの問題に正解できる実践力をつけることを目標とする。		
仙台高専学習・教育目標	C-2		
評価方法と基準	定期試験80%と小テスト・課題20%で評価し、60点以上を合格とする。		
教科書参考書	書名：『スピード攻略できるTOEICパーフェクト模試』 著者：武藤克彦 発行所：桐原書店		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『写真描写』 R：『短文穴埋め』
	第 2 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『応答』 R：『長文穴埋め』
	第 3 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『会話』 R：『読解』
	第 4 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『説明文』 R：『読解』
	第 5 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『写真描写』 R：『短文穴埋め』
	第 6 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『応答』 R：『長文穴埋め』
	第 7 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『会話』 R：『読解』
	第 8 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『説明文』 R：『読解』
	第 9 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『写真描写』 R：『短文穴埋め』
	第 10 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『応答』 R：『長文穴埋め』
	第 11 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『会話』 R：『読解』
	第 12 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『説明文』 R：『読解』
	第 13 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『写真描写』 R：『短文穴埋め』
	第 14 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『応答』 R：『長文穴埋め』
	第 15 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『会話』 R：『読解』
	第 16 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『説明文』 R：『読解』
		期末試験	
後 期	第 1 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『写真描写』 R：『短文穴埋め』
	第 2 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『応答』 R：『長文穴埋め』
	第 3 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『会話』 R：『読解』
	第 4 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『説明文』 R：『読解』
	第 5 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『写真描写』 R：『短文穴埋め』
	第 6 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『応答』 R：『長文穴埋め』
	第 7 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『会話』 R：『読解』
	第 8 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『説明文』 R：『読解』
	第 9 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『写真描写』 R：『短文穴埋め』
	第 10 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『応答』 R：『長文穴埋め』
	第 11 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『会話』 R：『読解』
	第 12 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『説明文』 R：『読解』
	第 13 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『写真描写』 R：『短文穴埋め』
	第 14 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『応答』 R：『長文穴埋め』
	第 15 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『会話』 R：『読解』
	第 16 週	TOEIC 練習問題演習、解答、解説	L：『説明文』 R：『読解』
		期末試験	

科 目 名	外国語B		
科 目 名 (英 名)	Foreign Language B		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修2単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	佐藤安功		
授業の概要と注意	文法を一通り済ませ、読み物を読みこなします。予習が必要です。ドイツ語が初めての人には配慮します。話しには聞いていたギリシャ神話をドイツ語にて読んで訪ねます。最初は少しずつ読みすすみますから、心配いりません。ギリシャ神話について、必要に応じて説明いたします。		
到達目標	辞書を用い、文法に沿ってドイツ語を読むことができる。		
仙台高専学習・教育目標	C-2		
評価方法と基準	前期末、後期末の平均60点以上		
教 科 書 参 考 書	『やさしいギリシャ神話』朝日出版社 『ヴィーン』朝日出版社		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	In Heiligenstadt und Grinzing	分離動詞
	第 2 週		
	第 3 週	Die Donau-Fahrt	比較級と最高級
	第 4 週		
	第 5 週	Die Zentralfriedhof	受動態
	第 6 週		
	第 7 週	Skilaufen in Tirol	関係代名詞
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週	Taro letzter Besuch der Staatsoper	接続法第1式
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週	Der Abschied	
	第 14 週		接続法第2式
	第 15 週		
	第 16 週		
	期末試験		
後 期	第 1 週	Die Sage von Oedipus	文章のみならず、話の流れを正確に掴みます。物語の筋道に存分に身を委ねましょう。
	第 2 週	オイディプス	
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週	Die Sagen Trojas	
	第 6 週	Trojas Erbauung	
	第 7 週	Der Raub der Helena	
	第 8 週	Das hoelzerne Pferd	
	第 9 週	Die Zerstoerung Trojas	
	第 10 週		
	第 11 週	トロヤ戦争	
	第 12 週	トロヤの敬虔	
	第 13 週	ヘレナの略奪	
	第 14 週	トロイの木馬	
	第 15 週	トロイの滅亡	
	第 16 週		
	期末試験		

科 目 名	健康学 A		
科 目 名 (英 名)	Health Science A		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	平間哲雄		
授 業 の 概 要 と 注 意	21世紀のキーワードは健康と環境であると言われている。健康は個人的な問題にとどまらず、社会的にも大きな問題であるということを理解し、人々が健康を保ち、安全によりよく生きるにはどうしたらよいかというテーマで、グローバルな視点から考察していく。日本や世界の地理、歴史に触れるので、それらに興味・関心をもっていることが望ましい。		
到 達 目 標	人類の生存にはさまざまな障害があることを確認するとともに、それらの問題に対する知識を深め、自分なりの対応策、改善策などを打ち出すことができるようにする。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評 価 方 法 と 基 準	定期試験70%、レポート等30%で評価し、60点以上を合格とする。		
教 科 書 参 考 書	毎時間、資料を配布する。		
授 業 計 画	授 業 項 目	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標	
前 期	第 1 週	健康観について	東洋と西洋の違いと共通点
	第 2 週	健康の意義と価値	WHOの定義と現代の考え方
	第 3 週	文明社会と健康1	生態系とのかかわり
	第 4 週	文明社会と健康2	気候風土とのかかわり
	第 5 週	環境汚染と健康被害1	大気汚染と地球温暖化
	第 6 週	環境汚染と健康被害2	水質汚染と環境ホルモン
	第 7 週	環境汚染と健康被害3	森林破壊と砂漠化
	第 8 週	環境汚染と健康被害4	その他の環境汚染
	第 9 週	健康指標1	各国の平均寿命
	第 10 週	健康指標2	乳児死亡率、有病率
	第 11 週	健康格差1	GDPとの関係
	第 12 週	健康格差2	地域間格差、人種間格差
	第 13 週	先進国の健康問題	生活習慣病、少子高齢化
	第 14 週	途上国の健康問題	感染症、飢餓、人口問題
	第 15 週	健康づくり	ヘルスプロモーション、健康日本21
	第 16 週	総復習	要点のまとめ
	期末試験		
後 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

科 目 名	哲学 A	
科 目 名 (英 名)	Philosophy A	
学 年 ・ 学 科	5年・全学科	
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間	
担 当 教 員	佐藤安功	
授業の概要と注意	『新約聖書マタイによる福音書』を一字一句でいねいに読みます。テキストの中で、何が問題となっているのか明らかにします。何故そのような表現になっているのか考えます。また、その解釈の根拠を吟味します。箇所によっては、文語体の英文にて読みます。『旧約聖書』には、必要な限り目を配ります。	
到達目標	『新約聖書マタイによる福音書』を読み通して、キリスト教について一定程度の理解を得る。 テキストに示される問題点を的確に捉え、さまざまな角度から考察することができる。	
仙台高専学習・教育目標	B-1	
評価方法と基準	期末試験60点以上	
教科書	『新約聖書』日本聖書刊行会 英文はお配りします。	
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標
前 期	第 1 週	文章を正確に読む その意味を考える 何故にかように語られているのか 何を伝えようとしているのか 伝える手立ては適当か 何が真理か 真理とは何か 一反論、議論を試みます
	第 2 週	
	第 3 週	
	第 4 週	
	第 5 週	
	第 6 週	
	第 7 週	
	第 8 週	
	第 9 週	
	第 10 週	
	第 11 週	
	第 12 週	
	第 13 週	
	第 14 週	
	第 15 週	
	第 16 週	
後 期	第 1 週	
	第 2 週	
	第 3 週	
	第 4 週	
	第 5 週	
	第 6 週	
	第 7 週	
	第 8 週	
	第 9 週	
	第 10 週	
	第 11 週	
	第 12 週	
	第 13 週	
	第 14 週	
	第 15 週	
	第 16 週	
	期末試験	

科 目 名	日本史学 A		
科 目 名 (英 名)	Japanese History A		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	鯨井千佐登		
授業の概要と注意	近現代日本における女性の暮らしや意識を探り、21世紀における両性関係と生活様式について考える。		
到達目標	ジェンダーや自然観をめぐる多様な歴史的事実とその意味を発見し、自分の歴史意識の一面性や画一性に気づく。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	定期試験100%		
教 科 書 参 考 書	毎回プリントを配布する。		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	ガイダンス	
	第 2 週	戦前における農家の「嫁」	宮城県農家の「嫁」に関心をもてる
	第 3 週	戦前における女性労働者	モノカルチャー化の意味を把握できる
	第 4 週	公娼制と女性の人権 (一)	人としての尊厳について考えられる
	第 5 週	公娼制と女性の人権 (二)	〃
	第 6 週	新中間層の生活文化 (一)	現代の庶民生活の原型に関心をもてる
	第 7 週	新中間層の生活文化 (二)	〃
	第 8 週	子どもの教育と学校制度	〃
	第 9 週	回顧と展望 講義の概要	講義内容をレポートにまとめる
	第 10 週	戦時下の女性たち	戦時下の女性の暮らしに関心をもてる
	第 11 週	性別役割分業	性別役割分業の意義と限界を確認できる
	第 12 週	女性差別撤廃条約 (一)	女性差別撤廃条約の意義を理解できる
	第 13 週	女性差別撤廃条約 (二)	〃
	第 14 週	日本の食文化 (一)	伝統的自然観の特質を把握できる
	第 15 週	日本の食文化 (二)	近代的自然観の特質を把握できる
	第 16 週	昭和とその前後の食文化	食事作法やモラルに関心をもてる
			期末試験
後 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

科 目 名	社会学 A		
科 目 名 (英 名)	Sociology A		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	高橋嘉代		
授業の概要と注意	人間と社会の基本的なかわりを理解し、その現代的位相を考察する。 参考文献について教室で指示し、自習の手引きとする。		
到達目標	人間と社会の基本的なかわり、現代的なあり方を理解し、自分なりに論じることができる。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	定期的小レポート20%、学期末レポート80%		
教科書	資料を配付する。参考書『ヤバイ経済学』 著者:スティーヴン・D・レヴィット、スティーヴン・J・ダブナー (望月衛 訳) 発行所:東洋経済新報社 ほか		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	ガイダンス	
	第 2 週	「社会学」とは何か	社会学の概要を理解する
	第 3 週	社会的存在としての人間	人間と社会のかかわりを把握する
	第 4 週	集団と人間(1)	〃
	第 5 週	〃 (2)	〃
	第 6 週	〃 (3)	〃
	第 7 週	日本社会と人間(1)	〃
	第 8 週	〃 (2)	〃
	第 9 週	現代社会を見る眼(1)	現代社会の位相を理解する
	第 10 週	〃 (2)	〃
	第 11 週	ジェンダー・階級・エスニシティ(1)	〃
	第 12 週	〃 (2)	〃
	第 13 週	〃 (3)	〃
	第 14 週	情報社会と人間(1)	現代社会と情報のかかわりを把握する
	第 15 週	〃 (2)	〃
	第 16 週	まとめ	社会学の特徴を確認する
後 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

科 目 名	健康学B		
科 目 名 (英 名)	Health Science B		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	平間哲雄		
授業の概要と注意	スポーツは長い時間をかけて人類がつくりあげた最大の大衆文化である。古代オリンピックの発祥と衰退、近代スポーツの成立過程、現代スポーツの問題点などについて講義を行い、スポーツが人類にもたらす光や影について考察する。毎時間、世界の地理、歴史に触れるので、それらに興味関心をもっていることが望ましい。		
到達目標	人類がつくりあげたさまざまなスポーツには、さまざまな関わり方があることを知るとともに、これを健全に活用することによって、健康で豊かな生活を営むことができるようにする。。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	定期試験70%、レポート等30%で評価し、60点以上を合格とする。		
教 科 書 参 考 書	毎時間、資料を配布する。		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		
後 期	第 1 週	スポーツの発祥	先史時代、農耕文明時代
	第 2 週	古代ギリシア	古代オリンピック競技
	第 3 週	古代ローマ	ローマ帝国のスポーツ
	第 4 週	中世のスポーツ	中世東洋・西洋のスポーツ
	第 5 週	近代スポーツの発祥	産業革命と近代民主主義
	第 6 週	近代オリンピック	復活の背景とクーベルタンの提唱
	第 7 週	日本の近代化とスポーツ	西洋スポーツの流入
	第 8 週	現代スポーツの問題 1	オリンピックの将来
	第 9 週	現代スポーツの問題 2	アスレティズムの弊害
	第 10 週	スポーツと政治 1	日本、アメリカ、西洋
	第 11 週	スポーツと政治 2	旧ソ連、旧東欧、中国
	第 12 週	スポーツと経済	スポーツ産業
	第 13 週	体力の概念	行動体力、防衛体力
	第 14 週	青少年の体力・運動能力	低下傾向の原因と対策
	第 15 週	トレーニング法	さまざまなトレーニング法
	第 16 週	総復習	要点のまとめ
	期末試験		

科 目 名	哲学B		
科 目 名 (英 名)	Philosophy B		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	佐藤安功		
授業の概要と注意	テキストを読み、何が問題となっているのか、また何故そのような表現になっているのかよく考えて下さい。禅の考え方や振る舞いについて、一定の理解を得る。		
到達目標	テキストに示される問題点を的確に捉え、さまざまな角度から考察することができる。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	期末試験60点以上		
教 科 書 参 考 書	『臨済録』岩波文庫		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		
後 期	第 1 週	序	無位の真人
	第 2 週		
	第 3 週	上堂	赤肉団上に一無位の真人
	第 4 週		無繩自縛
	第 5 週	示衆	臨済の三玄三要
	第 6 週		奪人不奪境・奪境不奪人
	第 7 週		人境不奪・人境俱不奪
	第 8 週	勘弁	称面前聽法底
	第 9 週		祇だ是れ平常
	第 10 週	行録	阿糞送尿・著衣喫飯
	第 11 週		聽法無依の道人
	第 12 週	塔記	活発発地
	第 13 週		仏に逢うては仏を殺し、
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		
	期末試験		

科 目 名	日本史学B		
科 目 名 (英 名)	Japanese History B		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	鯨井千佐		
授業の概要と注意	身近な小さなものに、実は豊かな意味が秘められている（神は細部に宿る）。そのことに気づくため、子どもの遊びや地域文化、地域産業などについて講義する。毎回プリントを配布するので、整理を怠らないこと。		
到達目標	身近な生活文化や地域産業をめぐる多様な歴史的事実とその意味を発見し、自分の歴史意識の一面性や画一性に気づく。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	定期試験100%		
教科書	毎回、プリントを配布する。		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		
後 期	第 1 週	ガイダンス	
	第 2 週	「えんがちょ」の遊びとは	子供の遊びに秘められた意味を発見する
	第 3 週	斜め十字と「中空の容器」	〃
	第 4 週	子どもの誓言としぐさ (一)	〃
	第 5 週	〃 (二)	〃
	第 6 週	〃 (三)	〃
	第 7 週	仙台城下の職人衆	城下町仙台に関心がもてる
	第 8 週	仙台城下における庶民生活	〃
	第 9 週	地域文化の発見 (一)	陸前の地域文化に関心がもてる
	第 10 週	〃 (二)	〃
	第 11 週	〃 (三)	〃
	第 12 週	地域を結ぶ (一)	陸前の地域産業に関心がもてる
	第 13 週	〃 (二)	〃
	第 14 週	〃 (三)	〃
	第 15 週	岩沼と名取の里に生きた人びと	無知の知に気づく
	第 16 週	『おくの細道』と仙台	〃
	期末試験		

科 目 名	社会学B		
科 目 名 (英 名)	Sociology B		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	高橋嘉代		
授業の概要と注意	人間と社会の基本的なかわりを理解するために、人々が発する様々な情報を読みといてゆく基礎事項を、様々な社会調査を通じて学ぶ。 参考文献について教室で指示し、自習の手引きとする。		
到達目標	社会調査の基礎事項を理解する。		
仙台高専学習・教育目標	B-1		
評価方法と基準	定期的小レポート20%、学期末レポート80%		
教 科 書 参 考 書	資料を配付する。参考書：『暴走族のエスノグラフィーモードの叛乱と文化の呪縛』 著者：佐藤郁哉 発行所：新曜社 ほか		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		
後 期	第 1 週	ガイダンス	
	第 2 週	社会調査とは何か	社会調査の概要を理解する
	第 3 週	調査の実例(1)	調査研究を紹介し社会調査の基礎を把握
	第 4 週	” (2)	”
	第 5 週	” (3)	”
	第 6 週	「見る」・「聞く」・「書く」こと(1)	フィールドワークの基礎知識を理解する
	第 7 週	” (2)	”
	第 8 週	調査の実例(4)	調査研究を通して社会調査の基礎を把握
	第 9 週	” (5)	”
	第 10 週	” (6)	”
	第 11 週	調査結果のあつかい	質的・量的調査の特徴を学ぶ
	第 12 週	調査の実例(7)	調査研究を通して社会調査の基礎を把握
	第 13 週	” (8)	”
	第 14 週	” (9)	”
	第 15 週	調査の倫理	調査を行う上での倫理面について学ぶ
	第 16 週	まとめ	社会調査の概要を確認する

科 目 名	生物学		
科 目 名 (英 名)	Biology		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修2単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	太田 宏、青木義幸		
授業の概要と注意	地球上にはさまざまな生物がいろいろな形、生活様式をもって生きている。この多様な性質が如何にしてでき上がったのかという問題を進化というバックグラウンドにして、進化学や生態学に注目しつつ、種々の生命現象について理解できるように講義を進める。		
到達目標	生物分類の大まかなルール、細胞の構造・機能、DNAの構造と遺伝的機能の基礎、自然淘汰の意味、適応度の概念、社会と環境問題などに関して生態学的な視点から理解する基礎を身につける。		
仙台高専学習・教育目標	A-1		
評価方法と基準	評価方法:定期テスト4回(70%)、レポート(20%)、授業内演習(10%)で評価し、60点以上を合格とする。 評価基準:上記方法を用いた評価で60点以上。		
教科書参考書	なし なし		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	細胞	細胞の構造、細胞内小器官の機能
	第 2 週	同上	同上
	第 3 週	遺伝とDNA	遺伝現象とDNAの構造
	第 4 週	同上	同上
	第 5 週	生物の多様性と分類	生物の分類体系
	第 6 週	生物と環境	生物と環境が織りなす生態系
	第 7 週	同上	同上
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	微生物学概説	微生物について基本的な知識を
	第 10 週	社会が生物多様性に求めるもの	社会生活と生物多様性の基本的な関係
	第 11 週	感染症と衛生動物	感染症に基づく微生物と人間との関わり
	第 12 週	同上	同上
	第 13 週	同上	同上
	第 14 週	脳と心の形成	人間の形態と思考の関係の現代的な問題
	第 15 週	同上	同上
	第 16 週	復習	復習
後 期		期末試験	
	第 1 週	自然淘汰	生物進化の基本的な考え方
	第 2 週	同上	同上
	第 3 週	適応度	適応度、包括適応度と進化
	第 4 週	同上	同上
	第 5 週	同上	同上
	第 6 週	繁殖システムの多様性	繁殖システムの多様性と適応度との関係
	第 7 週	同上	同上
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	性淘汰	性淘汰の仕組み
	第 10 週	同上	同上
	第 11 週	同上	同上
	第 12 週	共進化	性淘汰の仕組み
	第 13 週	同上	同上
	第 14 週	同上	同上
	第 15 週	保全生態学	保全生態学の現状と問題点
第 16 週	復習	復習	
	期末試験		

科 目 名	地球科学		
科 目 名 (英 名)	Earth Science		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修2単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	佐藤 浩		
授業の概要と注意	地球科学は地震学・気象学・天文学と幅広い分野から成っているが、それらは互いに関連している。最近注目されている地球温暖化や地震予知などのメカニズムを最新の研究を含めて分かりやすく解説し、演習を実施する。		
到達目標	①基礎的な知識を応用し、身近に起こっているさまざまな自然現象を解明しようとする態度を身につけること。 ②それらをグローバルな視点で深く理解することによって、生活に大いに役立てる姿勢を身につけること。		
仙台高専学習・教育目標	A-1, B-2		
評価方法と基準	評価方法:定期テスト4回(80%)と課題(20%)で評価する。 評価基準:上記方法を用いた評価で60点以上。		
教科書	なし		
参考書	なし		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	I 天体の動き (1) 春の星座	春の星座を知る
	第 2 週	(2) 恒星の性質(ヘルツシュプルング・ラッセル図)	ヘルツシュプルング・ラッセル図を理解する
	第 3 週	同上	同上
	第 4 週	(3) 惑星とケプラーの法則	ケプラーの法則で惑星の動きを理解する
	第 5 週	(4) 地球の自転と公転	地球の自転・公転の詳細を知る
	第 6 週	同上	同上
	第 7 週	(5) ミランコビッチ・サイクル	ミランコビッチ・サイクルを理解する
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	II 気候変動 (1) 大気の大気構造	大気の大気構造を理解する
	第 10 週	同上	同上
	第 11 週	(2) 気候変動と地球温暖化	気候変動を左右する因子について知る
	第 12 週	同上	自然エネルギーについてのトピックス
	第 13 週	(3) 異常気象	集中豪雨やフェーン現象について知る
	第 14 週	(4) 天気図作成	ラジオによる天気図作成と予報を行う
	第 15 週	同上	同上
	第 16 週	同上	同上
後 期		期末試験	
	第 1 週	III 地下の地質 (1) 地質時代	地質の時代について
	第 2 週	(2) 第四紀の海水面変動	第四紀の海水面変動について
	第 3 週	同上	同上
	第 4 週	(3) 軟弱地盤	圧密試験による解析を行う。
	第 5 週	同上	
	第 6 週	(4) 杭設計	建築・構造物を支える杭計算を行う
	第 7 週	(5) 日本列島の構造	日本の地質の特徴、特に沖積層について
	第 8 週	同上	同上
	第 9 週	中間試験	
	第 10 週	IV 地震発生のメカニズム (1) 地震波	P波・S波・マグニチュード、地球内部
	第 11 週	(2) 地震発生の原因	プレートテクトニクスや活断層について知る
	第 12 週	同上	同上
	第 13 週	(3) 地震発生のメカニズム	破壊力学による岩石破壊のメカニズム
	第 14 週	同上	同上
	第 15 週	(4) 地震予知	地震予知はどのようにして行われるか
第 16 週	同上	同上	
	期末試験		

科 目 名	総合科目 A (環境ビジネスコンテスト)		
科 目 名 (英 名)	Integrated Learning A (Environmental Business Contest)		
学 年 ・ 学 科	3年～5年・全学科		
授 業 形 態	実習・履修1単位以上・選択・1週間以上 (実習1日8時間)		
担 当 教 員	石山, 小林, 佐藤(安), 宍戸, 谷垣, 佐藤(一), 永弘, 本間, 李, 浅田, 武田(光), 伊師		
授 業 の 概 要 と 注 意	<p>学内で開催するコンテストに参加し, 自らが本校在学中に修得した知識や汎用的な技術を応用し, コンテストの課題に対して, 解決するための方法の提案やツールの作成を行う。</p> <p>インターネット・書籍等を活用した情報収集が重要となる。5学科の5人や学年の異なる学生でチームを組むことが望ましい。3年生は課題学習, 4・5年生は選択学習の時間で実施することを前提とするが, 夏期休業集中して実施することも可能である。</p>		
到 達 目 標	<p>チームでコンテストに参加することを通じて, 複合融合分野の素養を育成するとともに, 個々が修得した知識や技術を組合せて, 課題の解決方法や解決する為の機器・ツールを提案する能力を身に付けることが目標である。</p>		
仙台高専学習・教育目標	D-1, D-2		
評 価 方 法 と 基 準	コンテストの結果20%とレポート80%で評価する。60点以上で合格とする。		
教 科 書 参 考 書	なし なし		
授 業 計 画	授 業 項 目	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標	
前 期	第 1 週	1. ガイダンス 2時間	<p>コンテストの主旨・内容説明, チーム編成を実施する。</p> <p>コンテスト毎に課題を十分理解し, ①インターネット・書籍等活用した調査を実施し, ②参加者が一般科目で修得した汎用的な技術や知識を利用して課題を解決するアイデアを出す。</p> <p>①課題の主旨に沿って, アイデアを組合せた解決方法をまとめたり, 解決方法に基づいて解決するために提案する機器やツールを設計する。</p> <p>②所定の効果が得られているかどうか検討し, 効果が得られるように提案の修正を行う</p>
	第 2 週		
	第 3 週	2. 調査・企画 12時間以上	
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週	3. 計画・提案または制作・検討 12時間以上	
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		
後 期	第 1 週	4. コンテスト・評価 4時間	<p>コンテストに参加し, 自らの提案や作品のプレゼンテーションを行い, 審査委員による評価を実施する。また, 各自で取組全体のレポートをまとめて提出する</p>
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

科 目 名	総合科目 A (教材コンテスト)		
科 目 名 (英 名)	Integrated Learning A (Teaching Material Contest)		
学 年 ・ 学 科	3年～5年・全学科		
授 業 形 態	実習・履修1単位以上・選択・1週間以上 (実習1日8時間)		
担 当 教 員	石山, 小林, 佐藤(安), 宍戸, 谷垣, 佐藤(一), 永弘, 本間, 李, 浅田, 武田(光), 伊師		
授業の概要と注意	<p>学内で開催するコンテストに参加し, 自らが本校在学中に修得した知識や汎用的な技術を応用し, コンテストの課題に対して, 解決するための方法の提案やツールの作成を行う。</p> <p>インターネット・書籍等を活用した情報収集が重要となる。3年生は課題学習, 4・5年生は選択学習の時間で実施することを前提とするが, 夏期休業集中して実施することも可能である。</p>		
到達目標	コンテストに参加することを通じて, 教育力の素養を育成するとともに, 個々が修得した知識や技術を組合せて, 課題の解決方法や解決する為の機器・ツールを提案する能力を身に付けることが目標である。		
仙台高専学習・教育目標	D-1, D-2		
評価方法と基準	コンテストの結果20%とレポート80%で評価する。60点以上で合格とする。		
教 科 書 参 考 書	なし なし		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	1. ガイダンス 2時間	<p>コンテストの主旨・内容説明, チーム編成を実施する。</p> <p>コンテスト毎に課題を十分理解し, ①インターネット・書籍等活用した調査を実施し, ②参加者が一般科目で修得した汎用的な技術や知識を利用して課題を解決するアイデアを出す。</p> <p>①課題の主旨に沿って, アイデアを組合せた解決方法をまとめたり, 解決方法に基づいて解決するために提案する機器やツールを設計する。</p> <p>②所定の効果が得られているかどうか検討し, 効果が得られるように提案の修正を行う</p>
	第 2 週		
	第 3 週	2. 調査・企画 12時間以上	
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週	3. 計画・提案または制作・検討 12時間以上	
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		
後 期	第 1 週	4. コンテスト・評価 4時間	<p>コンテストに参加し, 自らの提案や作品のプレゼンテーションを行い, 審査委員による評価を実施する。また, 各自で取組全体のレポートをまとめて提出する</p>
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

準学士課程

専門共通科目 第3～5学年

科 目 名	工業倫理		
科 目 名 (英 名)	Ethics of Engineering		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・必修・週2時間		
担 当 教 員	阿部(章), 佐藤(安), M:松谷, E:中村, A:小林, S:柴田, D:新任		
授業の概要と注意	<p>・個人と社会というものを理解し, 自律的な技術者として社会の中で活躍することの意味と重要性を理解し, 個人の責任を自覚する. クラス別では, 技術者倫理の基本と实例を, 思考, 調査, 討論, 発表を通して学ぶ.</p> <p>・自分自身で広く深く考え, 表現できることが最も大切である. また, 観点が異なれば, 解がひとつだけではないことも多くある, グループ討論や人前で意見・調査の発表を行うので, 専門への興味と知識について十分な準備と思考を必要とする.</p>		
到達目標	<p>1. 技術者が特に倫理を要求される理由を理解し, 組織の中の一員または責任者としての自律的な行動を選択し, 多様な方法を見つけることができる.</p> <p>2. 工業に限らず視野を広く, 相手の話を聴き, 自らを表現することができる.</p>		
仙台高専学習・教育目標	B-2		
評価方法と基準	阿部教員: 講義を受講後にレポートを書いて提出, それを評価(40%)する. 各科目では, 課題レポート(40%)と討議と発表の内容(20%)を総合して評価する.		
教 科 書 参 考 書	初めての工業倫理: 斉藤, 坂下著・昭和堂, および プリント 技術者の倫理入門 著者: 杉本, 高城 発行所: 丸善		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		
後 期	第 1 週	1. 倫理学とは何か(1)	全学生対象: 佐藤安「カント哲学」
	第 2 週	1. 倫理学とは何か(2)	倫理学的問題 自由意志, 自律
	第 3 週	1. 倫理学とは何か(3)	倫理額的問題 義務, 提言命法
	第 4 週	1. 倫理学とは何か(4)	倫理額的問題 人格等の問題
	第 5 週	2. 技術者とは何か(1)技術者とは	全学生対象: 阿部章「技術者とは何か」
	第 6 週	2. 技術者とは何か(2)在り方, (3)倫理規範	技術者としての心構え
	第 7 週	3. 企業の技術者と倫理問題	企業の中で技術者は何をするのか
	第 8 週	3. 企業の技術者と倫理問題	直面する倫理問題の例題
	第 9 週	3. 企業の技術者と倫理問題	技術者としての心構え
	第 10 週	4. 各専門に関する事例(1)表現の基礎知識	各学科別授業: 各学科教員
	第 11 週	4. 各専門に関する事例(1)表現の基礎知識	各学科事例に学ぶ
	第 12 週	4. 各専門に関する事例(2)一般常識と専門	レポート作成と討論
	第 13 週	5. 事例によるディベートと発表	事例検索
	第 14 週	5. 事例によるディベートと発表	レポート, 討議
	第 15 週	5. 事例によるディベートと発表	調査, 発表準備
	第 16 週	5. 事例によるディベートと発表	発表(ポスター形式)あるいは報告など

科 目 名	情報ネットワーク		
科 目 名 (英 名)	Information Network		
学 年 ・ 学 科	4年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	遠藤 昇、矢入 聡、M:高橋、E:佐藤(喜)、A:飯藤、S:関戸		
授業の概要と注意	情報ネットワークを設計し、構築する上で基礎となる階層化アーキテクチャの概念、ネットワークを介して情報がどのように伝送、処理されて相手に伝えられるか、さらに情報通信機能を用いてどのようなサービスが実現されているかを講義する。小テストを随時行うので、自分で理解して解いてほしい。ネットワークは様々な技術が組み合されて実現されており、利用・構築する上で、それぞれの技術の関係を理解することが重要である。		
到達目標	階層化アーキテクチャの概念、ネットワークの情報伝送、情報処理の方法、さらに情報通信機能を用いた通信サービスの実現に関する基本的知識を習得する。		
仙台高専学習・教育目標	A-2		
評価方法と基準	中間試験50%、期末試験50%で評価し、60点以上を合格とする。		
教 科 書 参 考 書	教科書：「ネットワーク利用の基礎[新訂版]」 著者：野口健一郎 発行所：サイエンス社		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	ガイダンス	コンピュータネットワークの特徴 文字コード、画像・映像の符号化 伝送媒体、ネットワークの種類・形状 プロトコルの階層化、参照モデル 変復調、多重化、同期 イーサネット、CSMA/CD 回線・パケット交換、インターネット IPアドレスの種類、クラス サブネット、サブネットマスク、CIDR アドレス解決、経路制御、DNS ポート番号、フロー制御 TCP、UDP 電子メール、WWW、ファイル転送 不正アクセス、暗号化
	第 2 週	ネットワークとデジタル通信	
	第 3 週	データの符号化	
	第 4 週	ネットワークの構成	
	第 5 週	プロトコル	
	第 6 週	コンピュータ間の通信接続	
	第 7 週	ローカルエリア・ネットワーク (LAN)	
	第 8 週	中間試験	
	第 9 週	インターネットワーク	
	第 10 週	IPアドレス	
	第 11 週	サブネットワーク	
	第 12 週	ルーティング	
	第 13 週	トランスポートサービス(1)	
	第 14 週	トランスポートサービス(2)	
	第 15 週	アプリケーションサービス	
	第 16 週	ネットワークセキュリティ	
後 期	第 1 週	期末試験	
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

科 目 名	環境工学		
科 目 名 (英 名)	Environment Engineering		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	長谷川信夫、内海康雄		
授業の概要と注意	<p>かけがえのない地球を保全するために、環境問題を正しく理解し、人間活動と環境の相互関係を人間自らが制御して、棲みやすい環境を作り上げるための、環境科学と保全技術の基礎について理解できること。</p> <p>意織的に新聞や関係雑誌などに常に関心をもって理解に努めることを望む。また講義の中で適宜技術者としての倫理観に言及し、環境問題の研究事例を一部英語により解説する。技術者共通の教養として受講されたい。</p>		
到達目標	地球環境問題を大気、水質、廃棄物から総合的に理解するほか、公害防止管理者試験の受験レベルを目標に講義する。環境科学の基礎を説明できるようになることに加え、技術に関する基礎演習を具体的に解けるようになることを目標とする。		
仙台高専学習・教育目標	B-2		
評価方法と基準	定期試験70%、演習レポート30%をもって評価する。60点以上を合格とする。		
教 科 書 参 考 書	講師作成のプリント、書名:環境科学入門、著者:富田外、発行所:学術図書出版社		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	ガイダンス	科目の概要などを理解
	第 2 週	公害概論 (1) 公害の概要	人間活動による大気・水質汚染の理解
	第 3 週	公害概論 (2) 大気汚染物質と環境基準	発生機構、環境基準等の理解
	第 4 週	エネルギーと環境(1)国内外のエネルギー消費	各国の経済、エネルギー消費等の理解
	第 5 週	エネルギーと環境(2)エネルギーの分類	日本の分類、エネルギー需給の理解
	第 6 週	エネルギーと環境(3)CO2排出と地球温暖化	地球温暖化と日本の民生用エネルギー
	第 7 週	エネルギーと環境(4)世界での方向性と対策	
	第 8 週	住環境関係(1)人間と環境	人間を取り巻く環境を分類できる
	第 9 週	住環境関係(2)環境性能と省エネルギー	室内環境の性能と省エネルギー手法を理解
	第 10 週	水質関係 (1) 水質汚染と環境基準	水質汚染物質の化学・測定法・機器を理解
	第 11 週	水質関係 (2) 水処理技術	汚染物質の発生機構と水処理技術を理解
	第 12 週	水質関係 (3) 産業排水	産業排水についての基礎事項を理解
	第 13 週	廃棄物 (1) 廃棄物処理の現状	廃棄物の種類、産業排気処理技術を理解
	第 14 週	廃棄物 同上	同上
	第 15 週	廃棄物 (2) 廃棄物の選別と資源化	有価金属回収、廃棄物の化学特性等を理解
	第 16 週	廃棄物 同上	同上
	期末試験		
後 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

科 目 名	経営工学		
科 目 名 (英 名)	Administrative Engineering		
学 年 ・ 学 科	5年・全学科		
授 業 形 態	講義・学修1単位・選択・週2時間		
担 当 教 員	吉田 徹		
授 業 の 概 要 と 注 意	1) 広く日本の産業政策、産学官連携の変化を理解し、地域の産業振興を担う技術者の役割と責任を学ぶ。2) 社会の中で固有技術と管理技術が縦糸・横糸のように上手く組み合わせられた時に、効果的な活動を生み出す。社会を知り、会社の経営行動等を学ぶ。講義はプロジェクターを使用するのでノートする習慣を身につけること。また講義では毎回課題を出し、そのレポートを60%で評価するため、提出期限を守って提出すること。教科書は、一部プリントを配布。		
到 達 目 標	企業活動に関連する固有の専門知識・専門技術と共に、科学技術・産業政策、経営理念、管理技術等を良く理解し、変化する社会についてのマスコミ報道並びに関係ある雑誌等の記事を読み解く力を身につける。		
仙台高専学習・教育目標	B-2		
評 価 方 法 と 基 準	レポートを60%、演習課題を40%で評価し、60点以上を合格とする。		
教 科 書 参 考 書	参考書：「失敗学のすすめ」畑村洋太郎著（講談社）、「品質管理を考えるー日本の品質管理とISO9000」久米 均（日本規格協会）等、授業内で紹介する。		
授 業 計 画	授 業 項 目	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標	
前 期	第 1 週	1. ものづくり現場の大きな変化(その1)	はじめに、施策の基本的な考え方の変化 生産方式の変化、ITによるものづくり アウトソーシング、多発する製造事故 失敗に学ぶ、原因追及と責任追及 (DVD) 職制と役割、マッロー欲求段階、目標管理 維持と改善、問題解決の視点とステップ 効果的な会議、ファシリテータ 会議に有効な方法 (KJ法、BS法) 品質管理総論、基本的な考え方 統計的手法の考え方、QCの7つ道具 ヒストグラムと正規分布、工程能力 管理図法、工程解析、 品質保証、社内標準化、新JIS制度 国際標準と国際承認、ISO9000s、評価 産学官連携の現状と課題、 技術者の経営的側面、特別課題の解説
	第 2 週	同上 (その2)	
	第 3 週	同上 (その3)	
	第 4 週	同上 (その4)	
	第 5 週	2. 組織と業務(その1)	
	第 6 週	同上 (その2)	
	第 7 週	3. 効率的な会議 (その1)	
	第 8 週	同上 (その2)	
	第 9 週	4. クオリティマネジメント (その1)	
	第 10 週	同上 (その2)	
	第 11 週	同上 (その3)	
	第 12 週	同上 (その4)	
	第 13 週	5. 品質保証と標準化	
	第 14 週	6. 国際標準化とISO	
	第 15 週	7. 産学官連携の推進	
	第 16 週	8. 技術経営(MOT)と技術者	
後 期	第 1 週		
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

科 目 名	総合科目B（環境ビジネスコンテスト）		
科目名（英名）	Integrated Learning B (Environmental Business Contest)		
学 年 ・ 学 科	3年～5年・全学科		
授 業 形 態	実習・履修1単位以上・選択・1週間以上（実習1日8時間）		
担 当 教 員	石山, 小林, 佐藤(安), 宍戸, 谷垣, 佐藤(一), 永弘, 本間, 李, 浅田, 武田(光), 伊師		
授業の概要と注意	<p>学内で開催するコンテストに参加し、自らが本校在学中に修得した知識や汎用的な技術を応用し、コンテストの課題に対して、解決するための方法の提案やツールの作成を行う。</p> <p>インターネット・書籍等を活用した情報収集が重要となる。5学科の5人や学年の異なる学生でチームを組むことが望ましい。3年生は課題学習、4・5年生は選択学習の時間で実施することを前提とするが、夏期休業集中して実施することも可能である。</p>		
到達目標	<p>チームでコンテストに参加することを通じて、複合融合分野の素養を育成するとともに、個々が修得した知識や技術を組合せて、課題の解決方法や解決する為の機器・ツールを提案する能力を身に付けることが目標である。</p>		
仙台高専学習・教育目標	D-1, D-2		
評価方法と基準	コンテストの結果20%とレポート80%で評価する。60点以上で合格とする。		
教科書参考書	なし なし		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	1. ガイダンス 2時間	<p>コンテストの主旨・内容説明, チーム編成を実施する。</p> <p>コンテスト毎に課題を十分理解し, ①インターネット・書籍等活用した調査を実施し, ②参加者が一般科目で修得した汎用的な技術や知識を利用して課題を解決するアイデアを出す。</p> <p>①課題の主旨に沿って, アイデアを組合せた解決方法をまとめたり, 解決方法に基づいて解決するために提案する機器やツールを設計する。</p> <p>②所定の効果が得られているかどうか検討し, 効果が得られるように提案の修正を行う</p>
	第 2 週		
	第 3 週	2. 調査・企画 12時間以上	
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週	3. 計画・提案または制作・検討 12時間以上	
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		
後 期	第 1 週	4. コンテスト・評価 4時間	<p>コンテストに参加し, 自らの提案や作品のプレゼンテーションを行い, 審査委員による評価を実施する。また, 各自で取組全体のレポートをまとめて提出する</p>
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		

科 目 名	総合科目B (教材コンテスト)		
科 目 名 (英 名)	Integrated Learning B (Teaching Material Contest)		
学 年 ・ 学 科	3年～5年・全学科		
授 業 形 態	実習・履修1位以上・選択・1週間以上 (実習1日8時間)		
担 当 教 員	石山, 小林, 佐藤(安), 宍戸, 谷垣, 佐藤(一), 永弘, 本間, 李, 浅田, 武田(光), 伊師		
授業の概要と注意	<p>学内で開催するコンテストに参加し, 自らが本校在学中に修得した知識や汎用的な技術を応用し, コンテストの課題に対して, 解決するための方法の提案やツールの作成を行う。</p> <p>インターネット・書籍等を活用した情報収集が重要となる。3年生は課題学習, 4・5年生は選択学習の時間で実施することを前提とするが, 夏期休業集中して実施することも可能である。</p>		
到達目標	コンテストに参加することを通じて, 教育力の素養を育成するとともに, 個々が修得した知識や技術を組合せて, 課題の解決方法や解決する為の機器・ツールを提案する能力を身に付けることが目標である。		
仙台高専学習・教育目標	D-1, D-2		
評価方法と基準	コンテストの結果20%とレポート80%で評価する。60点以上で合格とする。		
教科書参考書	なし なし		
授 業 計 画	授業項目	授業項目に対する達成目標	
前 期	第 1 週	1. ガイダンス 2時間	<p>コンテストの主旨・内容説明, チーム編成を実施する。</p> <p>コンテスト毎に課題を十分理解し, ①インターネット・書籍等活用した調査を実施し, ②参加者が一般科目で修得した汎用的な技術や知識を利用して課題を解決するアイデアを出す。</p> <p>①課題の主旨に沿って, アイデアを組合せた解決方法をまとめたり, 解決方法に基づいて解決するために提案する機器やツールを設計する。</p> <p>②所定の効果が得られているかどうか検討し, 効果が得られるように提案の修正を行う</p>
	第 2 週		
	第 3 週	2. 調査・企画 12時間以上	
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週	3. 計画・提案または制作・検討 12時間以上	
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		
後 期	第 1 週	4. コンテスト・評価 4時間	<p>コンテストに参加し, 自らの提案や作品のプレゼンテーションを行い, 審査委員による評価を実施する。また, 各自で取組全体のレポートをまとめて提出する</p>
	第 2 週		
	第 3 週		
	第 4 週		
	第 5 週		
	第 6 週		
	第 7 週		
	第 8 週		
	第 9 週		
	第 10 週		
	第 11 週		
	第 12 週		
	第 13 週		
	第 14 週		
	第 15 週		
	第 16 週		